教	科		学科 加車工学	科目		自動車材料			対象級	専門課程 サービスエンジニア学 科1年	作成月日開講期	23/04/03 前期
教科:	担当	関根 仮	建•中村 泰!	<u></u>						<del>                                    </del>	肝研物	fil #n
	YED YED YED YED YED YED YED YED YED YED YED		非該当	総時限	6時限	授業方法	講	義	評価方法	期末試験		
	既要・目		71 HZ 1	W. 11-	- 11-1	1221-1-	HI -	3~	H: 114-7-7-	******		
			 }格レベル	に到達する	上で、必要	要な自動車を	材料の	)基礎	知識を習行	 导する。		
* 自動	]車整備	帯作業に	 C関係する	自動車のリ	 リサイクルダ		知識の	)習得	 ₽°			
〔授業の	 の到達	目標〕										
① 金	属材料	の性質	 [・種類およ	び加工処理	 里方法が理	 !解できる。						
② 非	金属材	料の性	質・種類お	および加工処	 処理方法が	理解できる	)					
3 IJ+	ナイクノ	レ方法と	≤必要性が	理解できる	10							
〔学習詞	評価の	基準〕										
試験	点数の	基準を	、Γ5·4·3·	∙2∙1」の5₽	 没階で表わ	す。						
試験	点数の	評価は	5:90 ~	100点 4:	75 ~ 89点	3:60 ~	74点					
60点	未満₫	り場合に	よ再試験を	行う。尚、耳	再試験後の	評価は試験	<b></b>	によ	る。			
〔使用	<b></b>	·教材等	<b>≨〕</b>									
*『自	動車材	料』	全国自動車	車整備専門	学校協会	* 自前	プリン	小をし	/ジュメとし	て、別途配付。		
					<u>授</u>	業計画						No. 1
実務経験	標準時限		* : <b>-</b> * 1 <b>-</b> 1	· ~ \+ _b   =			受業内			= b = 4 . 1 . 1 . 1 . 1 . 1 . 1		
										、試験法、検査法		
				製造工程、カ 			性質、	烈処	理 ————			
				寺殊鋼、鋼板 			<u> </u>		<b></b>			
				アルミニウム						 ヹラミック、複合素材		
				材料、モノニ								
	'	心のひし	X) - дГ эт /гэд·	<b>17</b> 3 かす、 <b>レ</b> ノ -	コンンハ・コ	一、口却十	- ባህ ጥገ	UX.	<b>州走社、</b>	自问烃		

教	科		学科 加車工学	科目		図面			対象級	専門課程 サービスエンジニア学 科1年	作成月日開講期	23/04/03 前期
教科	担当	中村 夛	 無中							<del>                                    </del>	肝研切	刊力
	15 m 圣験教員		非該当	総時限	4時限	授業方法	講	義	評価方法	期末試験		
〔授業			/ H/ !	40		1271-7-	н.	3~	H: 1947 5	******		
			 合格レベル	に到達する	上で、必要	な図面の	基礎知	〕識を	習得する。			
* 整備	士とし	て業務	 で用いるマ	 /ニュアル等	の図が理:	解でき、簡 <u>「</u>	単な図	]が描	iける知識を	 E習得する。		
[授業(	 の到達	目標〕										
① 製	図の意	義と重	要性を理角	解し、線の種	重類と用法	を理解する	0					
② 各	種図法	表現の	理解と寸流	法の記入方	法を理解す	ける。						
③ 部	品等を	観察し	 、簡単な図	が描けるこ	٤٤.							
〔学習	評価の	基準〕										
試験	点数の	基準を	. Γ5·4·3	.2.1]の5₿	没階で表わ	す。						
試験	点数の	評価は	5:90 ~	100点 4:	75 ~ 89点	3:60 ~	74点					
60点	未満の	り場合に	よ再試験を	行う。尚、耳	再試験後の	評価は試験	<b>検規程</b>	によ	る。			
〔使用	教科書	•教材等	<b>等〕</b> ————									
*『製[	<b>y</b> ]	全国自	動車整備専	專門学校協	会 * [	自前プリント	をレシ	シュメ	として、別途	途配付。 * 断面サンフ	プル	
					授 	業計画						No. 1
実務経験	標準時限						受業内	]容(]	<b>頁目</b> )			
	1	製図の	)意義と重要	要性及び規	格/図面の	大きさ及び	様式					
				図形の表し								
	1			習)/現物と				·				
	1	その他	!の製図に。	よる指示方法	法/ボルトに	こよる現物の	を認(え	寅習)				

教	科	学科 自動車工学	科目	基	礎自動車工	学		対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
									科1年	開講期	前期
教科	担当	春原 雄一(一級整	孫備士)•加賀	美直人	T			Г	T		
実務約	圣験教員	担授業 非該当	総時限	8時限	授業方法	講	義	評価方法			
〔授業	概要∙目	目的〕									
* 新力	人生に	対して、自動車の	全体像を理	解させ、そ	の後の本格	格授業	への	意識付ける	そ行う。 		
* 自動	車の専	専門用語、専門単	位に触れ、	技術者の卵	<b>卵としての</b> 意	識付	けを	<b>行う</b> 。			
[授業	の到達	目標〕									
1 =	動車の	D概要、基本構造	を理解する	0							
② 専	門用語	の意味を理解する	<b>3</b> .								
[学習]	評価の	基準〕									
評値	曲なし										
〔使用	教科書	•教材等〕									
*『基	礎自動	車工学』『基礎自	自動車整備 <sup>。</sup>	作業』							
				授	業計画	表					No. 1
実務経験	標準時限				ŧ	受業内	]容(]	頁目)			
	1	導入									
	1	自動車の概要(概	既要)								
	1	自動車の構造(コ	ンジン本体	Z II )							
	1	自動車の構造(コ	ンジン本体	Σ <b>I</b> )							
	1	自動車の構造(重	力伝達)								
	1	自動車の構造(フ	クスル及び	「サスペン	ション)						
	1	自動車の構造(耳	重体関係)/	自動車の語	<b>者元</b>						
	1	自動車の材料									
							_				

教	科	学科 自動車工学	科目		自動車総論			対象級	専門課程サービスエンジニア学	作成月日	2023/4/3
		春原雄一(一級自動	計事數供士)	- 中共寿中			<u>.</u>		科1年	開講期	後期
教科	担当	加賀美 直人・細川				店 丈	ш·+	11的 首思			
実務総	圣験教員	担授業 非該当	総時限	10時限	授業方法	講	義	評価方法	期末試験		
〔授業	概要·目	的〕									
* 三級	整備出	□試験合格レベル	に到達する	上で、必要	- 長な計算方法	去を習	得す	る。			
* 整備	士とし	て業務で用いる計	†算式が理	解でき、計	算方法を習	得する	5.				
〔授業(	の到達	目標〕									
・車がた	走行に	関わる数字が一選	車の姿として	こつながる。	ようになる						
•軸重.	、減速、	増速、速度につい	ハての計算	ができる							
・圧力.	、体積、	圧縮比についての	の計算がで	きる							
〔学習	評価の	基準〕									
試験	点数の	基準を、「5・4・3・	·2·1」の5	没階で表わ	゚゚゚ヺ						
試験	点数の	評価は 5:90 ~	100点 4:	75 ~ 89点	3:60 ~	74点					
60点	i未満0	り場合は再試験を	行う。尚、耳	<b>耳試験後の</b>	)評価は試験	<b>负規程</b>	によ	る。			
使用	<b>教科書</b>	•教材等〕									
* [f	†算問題	題を解くノウハウ』 	整研出版				テレジ	<sup>ブ</sup> ュメとして.	、別途配布。		
	<del></del>			<u></u>	業計画						No. 1
実務経験						受業内	容(J	項目) ————			
		トランスミッション	のギヤ比計	算/練習問	<b>引題</b>						
		排気量と総排気量	量/圧縮比/	平均ピスト	·ン速度/カ/	ム・リフ	'ト/出	₫力計算/級	東習問題		
		プラネタリ・ギヤ/	プーリーの	変速比/プ	一リに掛か	るトル	クとス	力/練習問題	題		
	2	圧力と力とパスカ	ルの原理/	ブレーキと	:油圧計算/	トルク	・レン	<u>′</u> チの計算/	/練習問題		
	2	ギヤ計算の復習/	/駆動トルク	<u>'、駆動力/</u>	車速計算/	練習問	題				

			$\overline{}$						1	
教	:科	学科 自動車工学	科目	#	総合自動車 I	I	対象級	専門課程サービスエンジニア学	作成月日	2023/4/3
			(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			 つ R 由 H -	+++ 知恵	科1年	開講期	前期
教科	担当	春原雄一(一級自動 加賀美 直人·細川				当店 实心。	十个 百忠			
実務約	怪験教員	員授業 非該当	総時限	4時限	授業方法		評価方法			
〔授業	概要・	目的〕								
·学科	·授業 <i>0</i>	の理解度確認の	ための期ま	ト及び単元	記試験を実	施する。				
		_						_		
〔授業	の到達	達目標〕								
C 244 717		- ++ >#->								
【字首	評価の	の基準〕								
〔使用	教科記									
					業計画	表				No. 1
		r								
実務経験	標準時限				打	受業内容(エ	頁目)			
実務経験		前期			ŧ.	受業内容(〕	<b>頁目</b> )			
実務経験		前期・エンジン構造期			<u>‡</u>	受業内容()	項目)			
実務経験		前期			ž	受業内容()	項目)			
実務経験		前期・エンジン構造期			. t	受業内容()	項目)			
実務経験		前期・エンジン構造期			. t	受 <b>業内容</b> ()	項目)			
実務経験		前期・エンジン構造期			. t	受 <b>業内</b> 容()	項目)			
実務経験		前期・エンジン構造期			. t	受業内容()	項目)			
実務経験		前期・エンジン構造期			. †	受業内容()	項目)			
実務経験		前期・エンジン構造期			. †	受業内容()	項目)			
実務経験		前期・エンジン構造期			. †	受業内容()	項目)			
実務経験		前期・エンジン構造期			. †	受業内容()	項目)			
実務経験		前期・エンジン構造期				受業内容()	項目)			
実務経験		前期・エンジン構造期				受業内容()	項目)			

₩	科	学科	科目	<u>بد</u> م	・エンジン構	告		対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	2023/4/3
叙	17	自動車工学	1 <del>11</del>	f	-・エンシン(特	坦		刈余拟	科1年	開講期	前期
教科	担当	加賀美 直人・細川	正博·谷口	敬·福泊)	<b></b> 集史				•		
実務網	圣験教員	負授業 非該当	総時限	40時限	授業方法	講	義	評価方法	単元·期末	試験	
授業	概要∙目	目的〕									
* 二級	整備:	L試験合格レベル	に到達する	6上で、必要	更となる三級	自動	車整	備士レベル	の二輪及び4輪自動車	車エンジンの	0
基礎	₺知識・	技術を習得する。									
* 二輔	につい	ヽては、ホンダ2輪	iサービスエ	ンジニアH	MSE3級習	習得に	向け	ての基礎習	3得		
*四輔	計につい	ヽては、ホンダ四軒	ーピス:	エンジニア	3級に向けて	での基	礎習	得及び国家	家資格3級レベルの習	得	
〔授業	の到達	目標〕									
1 =	輪•四	論の各装置の概要	要∙構造∙機	能・整備を	理解する。						
2 燃	料の精	ⅳ製・性状・添加剤	•取り扱い_	上の注意を	理解する。						
3 潤	滑剤の	目的・種類を理解	<b>弾する。</b>								
4 基	礎的な	原理・法則の電気	ῗ∙磁気を理	解する。							
〔学習	評価の	基準〕									
試験	点数の	基準を、「5・4・3	·2·1」の5	段階で表れ	す。						
試験	点数の	評価は 5:90 ~	100点 4:	75 ~ 89点	3:60 ~	74点					
60点	未満の	り場合は再試験を	行う。尚、	再試験後の	評価は試験	<b>负規</b> 程	によ	る。			
使用	教科書	•教材等〕									
*『基	礎自動	車工学』『三級自	動車ガソリ	ン・エンジン	/』『三級二軸	扁自動	車』				
:日:	本自動	車整備振興会連	合会 『電装	<b>長品構造』</b>	内燃機関、	燃料・	油脂	』: 全国自動	動車大学校·整備専門	学校協会	1
				授	業計画	表					No. 1
実務経験	標準時限				ŧ	受業内	]容(]	項目)			
	1	内燃機関の概要									
	1	4サイクル・ガソリ									
	1					ン、水	平対	向型エンジ	ジン)、構造・作動(シリン	ノダ・ヘッド	<b>関連</b> )
	1	エンジン本体2・村									
	1	エンジン本体3・				ヤフト	関連)				
	1	エンジン本体4・									
	1	エンジン本体5・		バルブ機構	構関連)、単 ————	気筒(	の行利	涅関連			
	1	4気筒の行程関連									
	1	電装基礎1(電気									
	1					)法則	、キノ	レヒホッフの	D法則、回路計算)		
	1	基礎理論1・基本	的な原理・	法則(磁気	、コイル)						

基礎理論2・基本的な原理・法則(リレー、モーター)

始動装置2・機能(回転力の発生、始動装置の作動)

始動装置1・概要・構造(モータ、オーバランニング・クラッチ)

大教	科目	学科 自動車工学	小教科目	学・エンジン構造	対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
		口却干土」		'- 4k = 1 <del> +</del>		科1年	開講期	前期
				授業計画表				No. 2
実務経験	標準時限	*·		授業内容(項	<u>負目)</u>			
		バッテリ1・概要・			/ *ナ 4/-1 TL 7 ピ゙	ニチの一の数し別点)		
				、容量、自己放電、型式)、整備( 、	液料及ひ!	北重の調整と測正) 		
		配線図1・基礎(構						
		配線図2・基礎(如						
		練習問題・学科網		•				
		前半復習•学科網						
				能(ウォータ・ポンプ)				
				ジエータ、サーモスタット、ファン)				
				3動(伝導、対流、放射) 				
				ル、キヤ・オイル、クリース) 一 冷却、緩衝、防錆、密封、清浄)				
				プロ、				
	-			き、万類、月序)、クリーへ (オイルの循環、ピストンの冷却、	ナイルポ^	ー ナイル・フィルタ	<u>+</u>	· )
				LPG、CNG)、石油精製法	オコルハン	/ノ、オコル・フィルス、 	<u> </u>	/)
				LPG、CING/、石油桶表法 				
				(インジェクタ、フューエルポンプ、	プレッシャ			レ占 発火
		4気筒の行程関連		(12/4///24 -/2///2 -/		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	- MW 70 ( 3 ) 2	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
					 ボデー関連	.)		
				リーナー)、排出ガス浄化装置(触				
		充電装置1·概要						
	-				 ダイオード	·)		
	-			火の基礎、気筒別独立点火方式)		<u></u>		
				ノョンコイル、ハイテンションコード。		 .方式)		
		練習問題・学科練				<u></u>		
				<u> </u>				

±/h	エイ	 学科	취묘		○			対象級	専門課程	作成月日	2023/4/3
教	什	自動車工学	科目		シャシ構造			<b>刈</b>	サービスエンジニア学 科1年	開講期	前期
教科	担当	春原雄一(一級自重	助車整備士)	・中村 泰史	・関根 健・Ⅰ	日居	史也•	中村 智恵		•	
実務網	圣験教員	到授業 非該当	総時限	40時限	授業方法	講	義	評価方法	単元·期末	試験	
〔授業	概要∙目	目的〕									
二輪及	なび四軸	論自動車のシャシ	系装置につ	いて、基本	構造と名称	か及び	作動	の理解を目	目的とする。		
〔授業	の到達	目標〕									
* 基	本構造	造と名称の習得	* 各部品	の役割と機	機能の習得	* 1	作動(	動き)と動力	力伝達の習得		
*電	気の基	礎知識の習得	* 電気装置	の作動の習	<b>習得</b> * 電	気の	)基礎	計算の習得	尋 *電気装置の作動	の習得	
※整	備士と	しての、心構え、基	<b>基礎知識</b>								
〔学習	評価の	基準〕									
各試駁	点数0	D基準、レポート評	価及授業	の取り組み	を総合して	、Γ5	·4·3	·2·1」の5	段階で表わす。		
5:特	に成績	慢秀なもの 4:月	<b></b> 技績良のも	の 3:成績	普通のもの	0 2	2:成紀	漬やや劣る	もの 1:成績特に劣り	、不合格の	もの
各試	験点数	の評価は 5:90	~100点 4	4:75 <b>~</b> 89	点 3:60~	~ 74.	点				
		60 s	点未満の場	合は再試験	険を行う。 尚	,再	試験征	後の評価は	試験規程による。		
レポ・	一トの記	評価は 5:非常に	優れている	。4:優れ <sup>-</sup>	ている 3: <del>1</del>	普通	<u> </u>	: やや劣る	1:劣る(再提出の必	要がある)	
〔使用	教科書	·教材等〕									
三級自	動車シ	ノヤシ, 電装品構造	造, 三級二韓	論自動車,	HMSE3級,	テキ	スト,	他			
				授	業計画	<b>〕</b> 表					No. 1
実務経験	標準時限				1	受業区	内容(	項目)			
	4	動力伝達装置/概	張要/クラッ <del>-</del>	チ							
	3	動力伝達装置/ト	ランスミッシ	<b>/</b> ョン							
	2	動力伝達装置/フ	゚ロペラ・シ	ャフト、ドラ・	イブ・シャフ	١-					
	2	動力伝達装置/デ	「ィファレン	シャル、ファ	イナル・ギ	ヤ					
	2	動力伝達装置/ア	'クスル、サ	スペンショ	ン/ショック	アブ	ソー/	ĭ			
	4	ステアリング装置									
	2	ホイール、タイヤ	/概要/構造	⋴機能							
	3	ブレーキ装置/概	要/構造•梢	幾能							
	1	フレーム、ボデー	(四輪、二韓	倫)							
	2	湿式多板クラッチ	(二輪)								
	2	トランスミッション	(二輪)								
	1	二輪サスペンショ	ン								
	1	二輪ステアリング									
	2	二輪Vマチック単	体								
	1	電気導入1、概要	、静電気、	電流、電流	とは、電流	の方	向と	大きさ、摩擦	と電気、自由電子他		
	1	電気導入2、配線	図の活用	方法、電気	用図記号(	也					

大教	科目	学科 自動車工学	小教科目	シャ	シ構造	対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
		<u> </u>			計画表		科1年	開講期	前期 No. 2
				12 未		· T D \			140. 2
<b>ミ務経験</b>	標準時限	±+ =++ === A	/=	I Art- \	授業内容()	リロ <i>)</i> 			
		基礎理論1,2 ( 基礎理論3,4 (			1				
		基礎理論3,4 (  灯火装置1(へッ)		:,抵抗仍計測)	)				
		灯火装置2(その		<u> </u>					
	'	一人表直2(60)	他無势表售	<u> </u>					

	-										Ī
教	科	学科 自動車工学	科目	学	・エンジン整	備		対象級	専門課程サービスエンジニア学	作成月日	2023/4/3
									科1年 	開講期	後期
教科:		加賀美 直人・細川	正博·福泊	ョ 篤史・谷口	l	1		1	T		
	圣験教員		総時限	28時限	授業方法	講	義	評価方法	単元·期末	試験	
授業権	概要∙目	目的〕 ————————————————————————————————————									
* 二級	整備:	は試験合格レベル	に到達する	上で、必要	となる 三級	自動	車整	備士レベル	の二輪及び		
		エンジンの基礎知									
		へては、ホンダ2輪									
*四輪	記つい	ては、ホンダ四軒	サービスコ	こンジニア3	8級に向けて	の基	礎習	得及び国家	家資格3級レベルの習	得 ————	
〔授業(	の到達	目標〕 ————————————————————————————————————									
		倫の各装置の概要 									
2) 燃	料の精	製・性状・添加剤	•取り扱い_	上の注意を 	理解する。						
3 潤	滑剤の	目的・種類を理解	する。								
学習記	評価の	基準〕									
試験	点数の	基準を、「5・4・3	·2·1」の5	段階で表わ	す。						
試験	点数の	評価は 5:90 ~	100点 4:	75 ~ 89点	3:60 ~	74点					
60点	未満0	り場合は再試験を	行う。尚、拝	再試験後の	評価は試験	<b>负規</b> 程	配よ	る。			
使用	教科書	•教材等〕									
*『三糸	級自動	車ガソリン・エンシ	ジュミ級目	自動車ジー	ゼル・エンシ	<b>ジン』</b> [	'三級	二輪自動車	₺〗∶日本自動車整備扱	·興会連合	会
r	킽装品村	<b>講造』『内燃機関、</b>	燃料·油脂	』:全国自動	動車大学校	▪整備	専門	学校協会			
『ホン	⁄ダHM	SE3級テキスト』	:(株)ホンタ	ダモーターヤ	サイクルジャ	ァパン					
				授	業計画	〕表					No. 1
<b>ミ務経験</b>	標準時限				ŧ	受業内	內容(	項目)			
	1	前期学科復習·前	ガローテの糸	東習問題を	実施						
	1	ニ輪エンジン・整	備·二輪車	の定期点核	険(エンジン)	本体の	の点板	負項目)			
	1	ジーゼル・エンジ	ン構造1・総	ඎ・内燃機	機関の分類	・ジー	ゼル	・エンジン根	我要・エンジン本体		
	1	ジーゼル・エンジ	ン構造2・燃	<b>≭料装置•予</b>	፟፟熱装置・燃	料及	び潤	滑剤			
	1	始動装置1•概要	•構造(モー	-タ、オーバ	<b>ドランニン</b> グ	・クラ	ッチ)				
	1	始動装置2•機能	(始動装置	の作動)・	整備(車上に	おけ	る点	検、スターク	の取外し及び取付け	)	
	1	充電装置1・概要	∙構造∙機能	能(発電の原	京理、ダイオ	FI	こよる	整流の原	理、オルタネータの起電	電力制御の	原理)
	1	充電装置2·機能	(充電回路	の作動)・	整備(車上に	おけ	る点	検)・バッテ	リ整備		
	1	電子制御装置1・	概要•構造	•機能(吸象	ā系統)						
_			144 544 144 644	(= <b>-</b> 4	160 dal 77 A				<del></del>		_

電子制御装置2·構造·機能(吸気系統、燃料系統、点火系統)

電子制御装置4・整備(吸気系統、燃料系統、制御系統)

電子制御装置3・構造・機能(制御系統)

前ローテ復習・前ローテの練習問題を実施

練習問題・学科練習問題を実施

1

大教	科目	学科	小教科目	学・エンジン整備	対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
		自動車工学				科1年	開講期	後期
				授業計画表				No. 2
<b>ミ務経験</b>	標準時限			授業内容(エ				
				オイル・ポンプ、オイル・パン、ウォ				)
				シリンダ・ヘッド及びブロック、ピス	ストン、ピス	トン・ピン及びピストン	・リング)	
		エンジン本体整備						
				コンロッド及びクランクシャフト、各	ベアリング	、フライホイール及び!	<i>」</i> ング・ギヤ	)
				4気筒·直列3気筒				
				ガスの発生過程とその成分、排出				
				ガス浄化装置・総論(ジーゼル・コ				
	1			・機能(点火の基礎、気筒別独立				))
	1			気筒別独立点火方式・整備(イ				
	1			賃造・機能(CDI点火装置、トランジ ────────────────────────────────────				
	1			賃造・機能(マグネット式と励磁式 <i>0</i>	Dオルタネ-	ータ)・整備(充電装置	、バッテリ)	
	2	練習問題・学科網	東習問題を3	実施 				

劫	科		学科	科目		シャシ整備			対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
玐	ग <b>न</b>	自動	車工学	197 🗖		ノドノ罡猟			小沙罗·柳	科1年	開講期	後期
教科	担当	春原雄-	一(一級自重	助車整備士)	・中村 泰史	┆•関根 健・│	臼居	史也·	中村 智恵		•	•
実務約	圣験教員	授業	非該当	総時限	28時限	授業方法	講	義	評価方法	単元·期末 試験		
授業	概要∙目	目的〕							•			
二輪及	なび四軸	扁自動車	<b>『のシャシ</b>	系各装置に	:ついて、基	本構造の行	复習と	上更な	る理解度の	)向上を目的とする		
授業	の到達	目標〕										
二輪及	なび四軸	扁自動車	<b>ミシャシの</b>	各装置につ	いて、基本	構造の理解	解度を	を上げ	ると共に、	整備法の基本を理解さ	させる。	
各部品	品の点材	食,調整	, 測定, メ	ンテナンス	の要領習得	<del>-</del>						
四輪車	重両にお	さいて、	定期点検(	12力月点核	() 及び記録	録簿の記入	要領(	の習得	7			
学習	評価の	基準〕										
各試駁	食点数(	の基準、	レポート評	·価及授業(	の取り組み	を総合して	, Γ5	·4·3·	2・1」の5	没階で表わす。		
5:特	に成績	慢秀な	もの 4: Fi	支績良のも(	の 3:成績	普通のもの	D 2	2 : 成約	責やや劣る	もの 1:成績特に劣り	、不合格の	もの
各試	験点数	の評価	は 5:90	~100点 4	1:75 ~ 89	点 3:60~	~ 74	点				
			60 <i>s</i>	点未満の場	合は再試験	験を行う。 治	,再	試験征	後の評価は	試験規程による。		
レポー	ートの	評価は	5:非常に	優れている	o 4:優れ	ている 3:	普通	<u>i</u> 2	: やや劣る	1:劣る(再提出の必	要がある)	
使用	教科書	教材等	<b>}</b> ]									
三級自	動車シ	ノヤシ,配	電装品構造	5, 三級二韓	扁自動車,	HMSE3級,	テキ	スト,	他			
					授	業計画	表					No. 1
ミ務経験	標準時限					•	受業区	内容(:	項目)			
	1	●授業	項目(前半	半) 走行性	能曲線							
	0.5	●授業	項目(後半	生) 安全装	置							
	2	●授業	項目(前半	生) クラッチ	·整備法							
	2	●授業	項目(前半	・ トルク・	コンバータ							
	2	●授業	項目(前半	4) AT								
	1	●授業	項目(後半	生) 動力伝	達装置整值	<b>備法</b>						
	1	●授業	項目(後半	生) アクスノ	レ・サス整備	<b>備法</b>						
	1			生) タイヤ・								
	2			生) ホイール		ント1, 2						
				生) ブレーニ								
	1			生) ブレーニ	キ整備法							
	1	●授業	項目 Pバ	ルブ								
	2	●授業	項目(後半	生) 制動倍	力装置							
	0.5	●授業	項目(後半	生)ニ輪ブ	レーキ							
	1	●授業	項目(後半	生) 定期点	検の要領							
	1	●授業	項目(前半	生) 基礎理	論(復習)							

大教科目	学科 自動車工学	小教科目	÷	シャシ整備		対象級	専門課程 サービスエンジニア学 科1年	作成月日開講期	23/04/03 後期
				 業 計 画	 表		1417	用册构	No. 2
1	●授業項目(後半			ж n п					140. 2
1	●授業項目(前半								
1	●授業項目(前半								
1	●授業項目(後半			 -ウインド					
2	●授業項目(後半			• 1- 1					
1	●授業項目(前半								
1	●授業項目(後半								

教	£3	学科	科目	3	総合自動車]	п	対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
扒	17	自動車工学	17 🗆	1	心口口到平 1	<b>u</b>	对象收	対1年	開講期	後期
教科	击 诉	春原雄一(一級自動	動車整備士)	・中村 泰史	.•関根 健・日	∃居 史也・	中村 智恵			
72/17		加賀美 直人・細川	正博·福泊	1 篤史•谷□	啓					
実務網	圣験教員	投業 非該当	総時限	4時限	授業方法		評価方法			
〔授業	概要∙目	目的〕								
·学科:	授業の	理解度確認のため	めの期末及	び単元試験	験を実施す	る。				
〔授業	の到達	目標〕								
[学習]	評価の	基準〕								
〔使用	教科書	▪教材等〕								
				授	業計画	表				No. 1
実務経験	標準時限				ŧ	受業内容(1	頁目)			
	4	後期				試験規定	こ則って実	施		
		・エンジン整備期	末試験(2時	<b>詩限</b> )						
		・シャシ整備期末	試験(2時限	₹)						

払	科	学科	科目		二輪車整備			対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
子X	17	自動車整備	14 🗆	一 <sup>袖子を岬</sup> 士)・中村 泰史・関根 健・臼居 史也・中:	小小外似	科1年	開講期	後期			
教科	担当	春原雄一(一級自動	動車整備士)	・中村 泰史	.•関根 健•日	3居	史也・	中村 智恵			
,,,,,		加賀美 直人・細川	│ 正博·福泊	1 篤史·谷口	D 啓			1			
実務	圣験教員	損授業 非該当	総時限	2時限	授業方法	講	義	評価方法	期末試験		
〔授業	概要·E	目的〕									
* =	輪車エ	ンジン、フレーム、	電装の各	装置につい	て、基本構	造と	整備の	D理解度試	験		
	の到達										
		きと名称の習得確									
		つ役割と機能の習									
* ホ	ンダ2軸	ーロービスエンジ ー	ニアHMSE	の基礎習行	导確認						
< ''' ==	== /== -	11.14.5									
	評価の								- mth 1		
		D基準、レポート語									) ± 0
								真やや劣る	もの 1:成績特に劣り	八个合格()	) <del>+</del> (/)
店合	缺只多	の評価は 5:90						との 歌 圧 は	=+F <b>&gt;</b> +8 <b>1</b> 01− <b>L</b> 7		
		60)	ス木 <b>冲</b> の場	合は井武県	<b>決を打つ。</b> 同	l、 <del>円</del> i	<b>三八</b> 馬史 亿	女の評価は	試験規程による。		
(唐田	<b>払む</b> 書	 ·教材等〕									
-		・叙M 寺」  ]車、ホンダHMSI	この処二ナフ	・L / <b>一 誌</b> へ	<b>電店</b>						
37級―	〒 日 男	早、ハンダ FIVIO	この放ナイグ	<b>、</b> ト ( <b>一</b> 計冊 ) 、	电早						N - 1
実務経験	標準時限					四坐口	内容()	百日)			No. 1
天伤柱歌	保华时限	 二輪授業全般の	———— <b></b>		1,	X **	7147	·只口 / ————————————————————————————————————			
	1	二輪授業全般復		*^ 給サード	ニュー・バン	アロ	MSE	の復習			
	'	—=   汉未主以该	日、ハンス	Z## 7	-	. /	VISE	以後日			

教	∓al	学科 機器の構造・取扱	科目	北北旦	器の構造・取	<del>l</del> tu v	対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03		
42.	17	「反船の構造・収収	17 🗆	1灰布	・	IXC.	外外从	科1年	開講期	前後期		
# <i>L</i> -1-1	+0 1/	春原雄一(一級自動	协車整備士)	•中村 泰史	・関根 健・日	日居 史也	,中村 智恵		•			
教科:	担当	加賀美 直人・細川	正博·福泊	自 篤史•谷□	了啓							
実務網	圣験教員	員授業 非該当	総時限	19時限	授業方法	講	評価方法					
〔授業	概要∙目	目的〕										
*整備	工具·	機器の取扱いを理	里解する			*自動車	車整備に必要	な電気の基礎知識を	養う			
* 研究	に課題を	を通して、使用する	機器を理解	解する。		* 電気(	に関する測定	の基礎を養う				
* 新技	技術につ	ついて調べる。				* サー=	テットテスタ <i>の</i>	基本的な使い方を学	<b>ડ</b> ૉ			
* 製品	に使用	用される機器につい	ハて調べる	0		* パーソ	リストの見て	りを学ぶ				
* HDS	Sの機	能と操作方法を学	ぶ									
〔授業の	の到達	目標〕										
* 実際	その測定	定機器の取り扱い	を通し、正	確な数値の	読み取りか	「出来る。						
* 研究	課題多	発表にてサービス <sup>・</sup>	マンとして、	調べる、資	:料作り、発	表するの	スキルを身	こつける。				
* 電気	の基礎	<b>逆知識を習得し、</b> 源	側定方法を	学ぶ。								
* / \(^-	-ツリス	トをみて部品検索	ができる事	<u> </u>								
* HDS	Sの機	能と操作が出来る	事									
〔学習詞	評価の	基準〕										
								ンジン、3級シャシ				
3級二	輪自動	<b>加車、電装品構造、</b>	定期点検				級テキスト(	二輪)、パソコン				
		T		授 	業計画					No. 1		
実務経験	標準時限				+							
	1	導入 /電子・静電			1	受業内容	(項目)					
3	1		∖気・電流・1	電圧	1	受業内容	(項目)					
	1 電流の三作用/電源と起電力・直流と交流・電気抵抗/電気回路図・回路図記号・オームの法則 											
	1		『源と起電:	力・直流とな	⋶流•電気担	£抗/電気	.回路図・回路		則			
	1		意源と起電: 接続(合成	力・直流とな	⋶流•電気担	£抗/電気	.回路図・回路		則			
	1	直列接続と並列技	記源と起電: 接続(合成! リ定	力・直流とダ 抵抗)/電圧	₹流・電気担 降下・キル	、抗/電気 ヒホッフ(	.回路図・回足 D法則/接頭		則			
	1 4	直列接続と並列打導入・基礎回路選パーツ・リスト/部	意源と起電: 接続(合成! 引定 品の流通/	カ・直流とを 低抗)/電圧 パーツリス	₹流・電気担 降下・キル トの役割/部	<ul><li>統/電気</li><li>ヒホッフの</li><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	回路図・回路 D法則/接頭 の仕組み		ĮIJ			
	1 4 2	直列接続と並列打導入・基礎回路選パーツ・リスト/部	意源と起電: 接続(合成打 対定 品の流通/ 及い/検査・	カ・直流と交 抵抗)/電圧 パーツリス ラインの構成	<ul><li>○流・電気担係下・キルトの役割/部</li><li>○大の役割/部域/測定機器</li></ul>	抵抗/電気 ヒホッフの 部品番号 器の保守	回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・	各種テスタの基準	ĮI)			
	1 4 2 1	直列接続と並列打導入・基礎回路調パーツ・リスト/部 検査機器の取り打	意源と起電: 接続(合成 別定 品の流通/ 及い/検査・	カ・直流とを 抵抗)/電圧 パーツリス ラインの構成 ダイアグノー	E流・電気担 降下・キル トの役割/部	5抗/電気 ヒホッフの 部品番号 器の保守 ド/HDSk	回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・	各種テスタの基準法の概要	則			
	1 4 2 1	直列接続と並列打導入・基礎回路調パーツ・リスト/部 検査機器の取り打 故障診断システム	意源と起電: 接続(合成 別定 品の流通/ 及い/検査・ ムの概要/タ	カ・直流とを 抵抗)/電圧 パーツリス ラインの構成 ダイアグノー 法)/道路週	E流・電気担 降下・キル トの役割/部	5抗/電気 ヒホッフの 部品番号 器の保守 ド/HDSk	回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・	各種テスタの基準法の概要	則			
	1 4 2 1 1	直列接続と並列打導入・基礎回路調パーツ・リスト/部検査機器の取り打 故障診断システム 自動車法令(道路	意源と起電だ 接続(合成計 別定 品の流通/ 及い/検査・ ムの概要/タ 発運送車両 問題:法令、	カ・直流とを 抵抗)/電圧 パーツリス ラインの構成 ダイアグノー 法)/道路週 機器)	を流・電気担 降下・キル トの役割/部 戊/測定機器 -シス・コート 退送車両法の	抵抗/電気 ヒホッフの 部品番号 器の保守 ド/HDSを の意義と	回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・	各種テスタの基準法の概要	<u></u>			
	1 4 2 1 1 1 1 2	直列接続と並列打導入・基礎回路調パーツ・リスト/部検査機器の取り打 故障診断システム 自動車法令(道路総合復習(練習問	意源と起電。 接続(合成 別定 品の流通/ 及い/検査・ 公の概要/タ 子 子 子 子 子 の 表 子 子 子 の 表 の 表 の 表 の 表 の 表	カ・直流とを 低抗)/電圧 パーツリス ラインの構成 イアグノー 法)/道路追 機器) 具・機器/測	を流・電気担 降下・キルトの役割/部 大/測定機器 ・シス・コート 運送車両法の リ定機器の の の の の の の の の の の の の の	版抗/電気 ヒホッフ( 野品番号 器の保守 ド/HDSを の意義と 取り扱い	回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・回路図・	各種テスタの基準法の概要				

教	科	実習 自動車整備作業	科目		工作作業		対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03				
		日期平笠浦下未						科1年	開講期	前期				
教科	担当	春原雄一(一級自	動車整備士)	・中村 泰史	・関根 健・日	臼居 史也・□	中村 智恵							
		加賀美 直人・細川	正博·福泊	i 篤史∙谷口	啓									
実務網	¥験教員	<b>資授業</b> 該当	総時限	13時限	授業方法	実習·実技	評価方法		レポート評価					
〔授業権	既要∙目	目的〕												
整備士	の心楠	構えと、基礎工作作	作業の修得											
* 基本	作業を	理解し、安全作業	業を身に着	ける。										
* 各種	の機器	器,工具の使い方	を学ぶ。											
〔授業の	の到達	目標〕												
〇スマ	ートファ	ナンスタンド製作を	・通して各種	[工具を使用	用し、工具の	の取り扱い	が正しくでき	きる						
〇スマ	ートファ	ナンスタンド製作を	通して安全	な作業が	できる									
〔学習	評価の	基準〕												
各試験	点数0	ひ基準、レポート記	基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5·4·3·2·1」の5段階で表わす。											
5:特	に成績	責優秀なもの 4:J	憂秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの											
各試	験点数	D評価は 5:90~100点 4:75~ 89点 3:60~ 74点												
		60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
レポ-	ートの言	平価は 5:非常に	優れている	3 4:優れて	ている 3: <del>1</del>	普通 2:	やや劣る	1:劣る(再提出の必	要がある)					
〔実務紀	経験の	ある教員による授	<b>受業</b> 〕											
自動	車整備	i士として実務経り	倹のある教員	員が、整備3	現場で必要	な作業方法	失・知識につ	ついて、						
実務	経験を	活かしてより実践	的内容を指	4導し授業を	を行う。									
〔使用	<b>教科書</b>	•教材等〕												
基礎自	動車]	C学・基礎自動車	整備作業											
				授	業計画	表				No. 1				
実務経験	標準時限				ŧ	受業内容(」	頁目)							
0	4	整備の基礎知識	/安全作業	に対する注	意事項/基	本的なハン	ドルールの	の使用方法						
0	4	工作機器の取り	扱い方法(ク	ガキ, ポン	チ,タップ,	ダイス, 電	気ドリル,i	弓のこ,ねじ切り作業)						
0	4	アルミ板の加工、	曲げ加工(	端面、表面	の仕上げ).	、ヘリサート	·加工、							
0	1	ねじ抜き取り(折						トラクタ)						

大教	田澤	実習	小教科目		測定作業		対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
7,50	111	測定作業	7.47.11		ALIFA		7.1 3N 19X	<b>科1年</b>	開講期	通期
教科:	担当	春原雄一(一級自重	协車整備士)	・中村 泰史	・関根 健・日	日居 史也・	中村 智恵			
		加賀美 直人・細川	正博•福泊	: 篤史・谷口	] 啓		1			
実務組	E験教員	授業 該当	総時限	25時限	授業方法	講義	評価方法		レポート評価	
〔授業権	既要∙目	目的〕二輪四輪自	動車シャシ	/の実践整	備の、点検	整備におり	ける測定作:	業の習得		
点検整	備にま	いて、各種測定り	具を用いて.	正しく精度	[よく測定を	行うスキル	を向上する	5		
回路区	·電圧	降下を理解し、正	しいアース	基準の電圧	E測定による	る導通点検	(測定)			
〔授業	目標〕									
~1 É	動車	整備作業に使用す	トる工具及で	び測定機器	類の名称、	構造、用	金、種類を理	里解する。 		
~2 ]	C具及	び測定機器類の』	Eしい使用:	方法を習得	する。					
<b>~</b> 3 测	東作	業の目的、測定誤	差の種類と	上注意を理	解させる。					
<b>~</b> 4 <del>3</del>	全作	業の大切さを理解	させる。							
~5 <u>-</u>	二輪車	の日常点検/軽整	備/消耗部	品の交換作	作業を通じて	て、基本構	或部品の全	:体レイアウトを確認さ	せる。	
<b>~</b> 6 [	回路図	・電圧降下を理解	し、正しいフ	アース基準の	の電圧測定	による導道	<b>五点検(測</b> 定	目)が出来る。		
〔使用	<b>教科書</b>	•教材等〕								
				授	業計画	表				No. 1
実務経験	標準時限				ŧ	受業内容(	項目)			
0	4	日常点検/点検測	定要領/簡	単な良否	判定/工具の	の使い方()	スパナ、各種	重レンチ)		
0	1	オシロスコープの	取り扱い/フ	本体の機能	使用方法	、プローフ	の使用方法	去 ————————————————————————————————————		
0	1	オシロスコープ波	形の読み耳	<b>えり/システム</b> を	ボードにて波	形の確認	作業/サン	プル波形からの数値説	取作業	
0	4	エンジンの作動原	理/混合気	に燃焼/42	ストロークエ	ンジン原理	<b>I</b>			
		エンジンの構造/	エンジン内	部構造観察	叉/各部測定	≧/ホイール	脱着			
0	4	基本工具取扱い	(ハンマ、プ	ライヤ、ガレ	ノージ・ジャ	ッキ、リジ	ット・ラック、	輪止め、十字レンチ他	!)	
0	1	レポート作成方法	実習レポ	ート記入の	基礎練習)					
0	4	・GX120エンジン	の測定作	<b>業</b>						
0	1	ブレーキ点検整備	請、測定法(	ディスク・フ	ブレーキ、ド	ラム・ブレー	<b>-</b> キ)			
0	1	実車整備点検に	おける測定	法(日常点	検、ブレー	キ、タイヤ)				
0	2	測定効果確認試	験							
0	2	抵抗•電圧測定、	導通点検/	エアコン装	置部品理解	<b>‡</b>				
0	2	実力確認								

#### 授業計画(シラバス)

数科		実習	科目	実・エンジン構造				対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
教科 自動車整備		車整備作業	14 🗆	夫・エンシン博垣					科1年	開講期	前期
教科担当	教科担当 加賀美 直人·細川 正博·福				了啓						
実務経験教員	授業	非該当	総時限	80時限	授業方法	講	義	評価方法	単元·期末試験	レポート評価	
41-44 In 11-5											

#### 〔授業概要·目的〕

\*二級整備士試験合格レベルに到達する上で、必要となる三級自動車整備士レベルの二輪及び4輪自動車エンジンの

基礎知識・技術を習得する。

- \*二輪については、ホンダ2輪サービスエンジニアHMSE3級習得に向けての基礎習得
- \*四輪については、ホンダ四輪サービスエンジニア3級に向けての基礎習得及び国家資格3級レベルの習得

#### [授業の到達目標]

- ① 整備士としての、心構え、基礎知識及び基本作業が実践できること。
- ② 二輪・四輪の各装置の概要・構造・機能・整備を理解する。

#### 〔学習評価の基準〕

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の基準を、「5·4·3·2·1」の5段階で表わす。

試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

#### 〔使用教科書·教材等〕

\*『基礎自動車工学』『三級自動車ガソリン・エンジン』『三級二輪自動車』: 日本自動車整備振興会連合会

『電装品構造』:全国自動車大学校・整備専門学校協会、『エンジン構造電装テキスト』『実習用テキスト』

		授 業 計 画 表	No. 1
実務経験	標準時限	授業内容(項目)	
	8	・4サイクル・ガソリン・エンジン(OHV型)の基本構造の理解(GX120)	
	4	・4サイクル・ガソリン・エンジン(OHC型)の行程、部品名称、役割の理解(C50)	
	8	・4気筒の行程関連を理解する(R20A型)シリンダーヘッド周り分解	
	2	・電装基礎(アナログ・サーキット・テスタ取扱い/デジタル・サーキット・テスタ取扱い)	
	4	・電流と磁気(電気の基本的な原理を理解する。直流、交流、電気抵抗、磁気、回路)	
	4	・始動装置(始動装置の回路の構成を理解する。モータの種類、マグネット・スイッチ。分解組立)	
	4	・始動装置(実車による理解、車上点検、測定、バッテリの基本と点検)	
	2	・実習授業のスキル確認を実施	
	4	・SOHC型ガソリン・エンジンのタイミング・ベルト脱着作業の習得(D16A)、行程関連、バルブ・クリアランス	
	4	・4気筒4サイクル・ガソリン・エンジンの行程関連、役割を理解する(CB1100)、行程関連、バルブ・クリアラ	ンス
	12	・シリンダ・ヘッドの分解・組立の復習(R20A)	
	2	・行程関連を理解する	
	4	・キャブレータの基礎理解、キャブレータとインジェクションの違い理解	
	4	・点火装置の各部の名称と役割を理解(単品)	

4L T.1		実習	#4 F7	ch \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	T1 & 1/1	専門課程	作成月日	23/04/03
教科		自動車整備作業	科目	実・エンジン構造	対象級	サービスエンジニア学 科1年	開講期	前期
				授 業 計 画 表				No. 2
2	2	・点火装置(回路	図と実車の	構造を理解する)、スパーク・プラ	が、点火間	<b></b> 時期点検		
4	4	・オルタネータの音	<b>邹品名称、</b>	構造、機能を理解(単品)				
2	2	・オルタネータ、バ	「ッテリ、電気	気負荷の関係回路を理解する(	(車)			
4	4	・吸排気装置の名	<b>沿称、構造、</b>	機能を理解する				
2	2	・実習授業のスキ	・ル確認を実	<b>尾施</b>				
	_							
	$\dashv$							
	$\perp$							
	-							
	$\dashv$							
	$\dashv$							
	_							

±/-	· <b>4</b> ·1	実習	14 D		♪. \> .##\#		共名织	専門課程	作成月日	23/04/03
教	:科	自動車整備作業	科目		シャシ構造		対象級	サービスエンジニア学 科1年	開講期	前期
教科	担当	春原雄一(一級自	動車整備士)	・中村 泰史	!関根 健・	臼居 史也・	中村 智恵			
実務網	経験教員	負授業 非該当	総時限	80時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元·期末試験		
二輪及	なび四軒	角自動車シャシの	各装置につ	いて、基本	構造,作動	動,機能,名	称の習得	を目的とする。		
〔授業	の到達	目標〕								
* 基:	本構造。	と名称の習得 *	各部品の	役割と機能	の習得 *	・作動(動き	き)と動力伝	達の習得		
* 電	気の基	礎知識を習得	* サーキッ	トテスタの村	構造を理解	し、正しい耳	対扱いの	習得		
ж =	論につし	ハては、HMSE-3約	吸修了に向	けての基礎	整習 ※整	備士としての	の、心構え	, 基礎知識, 及び基本	作業	
〔学習	評価の	基準〕								
各試馴	食点数0	ひ基準、レポート記	平価及授業(	の取り組み	を総合して	ζ, Γ5·4·3·	2・1」の5	没階で表わす。		
5:特	に成績	長優秀なもの 4:♪	<b>並績良のも</b>	の 3:成績	音普通のも(	の 2∶成績	責やや劣る	もの 1:成績特に劣り	J、不合格 <i>の</i>	もの
各試	験点数	の評価は 5:90	~100点 4	1:75 ~ 89	点 3:60	~ 74点				
		60,	点未満の場	合は再試	験を行う。 尚	尚、再試験後	後の評価は	試験規程による。		
レポ	一トの言	平価は 5:非常に	優れている	。4:優れ <sup>-</sup>	ている 3:	普 通 2	: やや劣る	1:劣る(再提出の必	要がある)	
〔使用	教科書	·教材等〕								
三級自	動車シ	ノヤシ、電装品構造	告,三級二韓	論自動車,	HMSE3級,	テキスト, イ	也			ı
	T			授	業計画	画 表				No. 1
実務経験	標準時限				技	受業内容(項	[目]式			
	4	タイヤ&ホイール	<b>⁄ 種類, 各</b>	表示記号	タイヤ・チ	ェンジャ及し	ボイール・	バランサの使用方法		
	4	乾式単板クラッチ	基本構造	, 名称, 機	能及び動き	力伝達経路	と動力断約	売の仕組み		
	6	FR用トランスミッ	ション 分解	解,組立及で	び構造,機	能, 名称				
	4	サスペンションと	アクスル 棹	構造,機能,	名称,種類	類				
	4	ブレーキ装置1	マスタ・シリ	ンダ及びす	ディスク式ブ	レーキの棒	造,機能,	名称		
	4	ブレーキ装置2	ドラム式ブレ	ノーキの構	造,機能,	名称, 役割				
	4	ステアリング操作	機構・ギヤ	機構(ラック	フ・ピニオン	型)の分解	,組立、構	造,機能,名称		
	4	ステアリング・ギー	ヤ機構(ボー	ール・ナット	型)の分解	,組立、構造	造,機能,4	<b>3</b> 称		
	4	ファイナルギヤ及	びディファし	ノンシャル。	とドライブシ	ヤフトの分類	解,組立、	構造,機能,名称		
	2	〔2輪〕ベルト式無	段変速機(	Vマチック)	の分解, 約	祖立、構造,	機能,名和	<b>尔</b>		
	4	〔2輪〕フロント・フ	オークの分	解,組立、	構造,機能	,名称 ————				
	4	[2輪]湿式多板?	ウラッチ <a< td=""><td>pe&gt;の分f</td><td>解,組立、</td><td>構造,機能,</td><td>名称</td><td></td><td></td><td></td></a<>	pe>の分f	解,組立、	構造,機能,	名称			
	4	電気工作 はんか	ごと配線 カ	プラの作列	忧,種類,脱湋	<b>計方法</b>				
	4	基礎 導入(実習	での注意事	耳項)及び酉	こ電ボード	での結線と	則定			
	2	電圧測定1(単品	)プラス制行	卸とマイナス	ス制御 回り	路図から回	路を作成し	電圧の有無の特定		
	2	電圧測定2 (復	<del>-</del>	~~=r ~ #+	<u> </u>	<del></del>				

灯火装置1 配線図、配線色の解読及びスイッチ類の点検、接続

教	科	実習	科目	シャシ構造	対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
		自動車整備作業				科1年	開講期	前期
-				授業計画表				No. 2
	4	灯火装置2 実体	配線図の角	解読及びテスタによる電圧降下の	)点検 			
				ム・ボードの各灯火装置及びラン				
	2	灯火装置4(2輪	実習)回路	図と実車の回路比較及びテスタに	よる点検、	抵抗点検		
	2	スキルチェック(シ	/ャシ) 実習	習の総合復習 ニューニー				
	2	スキルチェック(電	<b>注</b> 実	習の総合復習				
	2	授業項目(前半・	後半)理解	度確認 (シャシ)				
	2	授業項目(前半・	後半)理解	度確認 (電装)				

教科		実習	科目	実・エンジン整備				対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
3217	教科 自動車整備作業		14 🗆	*	夫・エンンノ登禰				科1年	開講期	後期
教科担当	教科担当 加賀美 直人·細川 正博·福			ま 篤史・谷口	了啓						
実務経験教員	実務経験教員授業		総時限	84時限	授業方法	講	義	評価方法	単元·期末試験	レポート評価	
〔授業概要·E	]的〕							-	•		

\*二級整備士試験合格レベルに到達する上で、必要となる三級自動車整備士レベルの二輪及び4輪自動車エンジンの

基礎知識・技術を習得する。

- \*二輪については、ホンダ2輪サービスエンジニアHMSE3級習得に向けての基礎習得
- \*四輪については、ホンダ四輪サービスエンジニア3級に向けての基礎習得及び国家資格3級レベルの習得

#### [授業の到達目標]

- ① 整備士としての、心構え、基礎知識及び基本作業が実践できること。
- ② 二輪・四輪の各装置の概要・構造・機能・整備を理解する。

#### [学習評価の基準]

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

試験点数の基準を、「5·4·3·2·1」の5段階で表わす。

試験点数の評価は 5:90~100点 4:75~89点 3:60~74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

#### 〔使用教科書·教材等〕

\*『三級自動車ガソリン・エンジン』『三級二輪自動車』: 日本自動車整備振興会連合会

『電装品構造』:全国自動車大学校・整備専門学校協会、『エンジン構造電装テキスト』『実習用テキスト』

		授 業 計 画 表	No. 1
実務経験	標準時限	授業内容(項目)	
	2	前期復習 実習授業復習を実施	
	4	-90° V型エンジンの行程関連を理解する(VT250)	
	4	・ジーゼル・エンジンの概要、部品名称、構造・機能を理解する	
	8	・DOHC型直動式ガソリン・エンジンのバルブ・シム調整を習得(CB400SF)	
	4	・オルタネータの部品、名称、構造、機能を理解する(単品)	
	4	・テスタ類を使用した、充電装置の測定を習得する(実車)	
	4	・始動装置の分解・組立及び部品、名称、構造・機能を理解する(単品)	
	4	・始動装置 実車での始動装置の点検方法の習得・バッテリの良否判定の習得	
	4	・電子制御装置の部品名称、取付け位置、構造及び機能を理解する(Eng単体)	
	4	・電子制御装置 実車の電子制御装置の位置、名称、役割を理解する。	
	2	スキルチェック・実習授業のスキル確認を実施	
	2	後期前半の復習 ・後期前半実習授業復習を実施	
	4	・3気筒ガソリン・エンジンの行程関連、バルブ・クリアランス調整の習得(E07Z)	
	4	・測定具の正しい使い方(ノギス、マイクロ・メータ、スコヤ、定盤、ダイヤル・ゲージ、シリンダ・ゲージ等)	

						専門課程	作成月日	23/04/03
教科	-	実習 自動車整備作業	科目	実・エンジン整備	対象級	サービスエンジニア学科1年	開講期	後期
				授 業 計 画 表				No. 2
	8	・エンジン部品の	 整備項目、	測定具、測定方法、良否判定を理	里解する(F	R20A)		
	2	・点火装置(単品)	)一次電流	の断続方法が理解。転科時期コン	ントロールの	の理解		
	2	・点火装置(実車)	)点火装置[	回路各部の点検ができる				
	4	・基本的な点火装	置の回路、	,作動機能理解(二輪車)				
	4	·二輪始動装置の	)回路図から	ら実車配線との比較、検証。テス	タによる測	定。		
	4	•二輪故障診断	機器を使用	引した故障診断、整備方法の理解				
	4	・エンジン総合整	備 定期点	検、日常点検のエンジン関連項目	目の実施			
	2	・実習授業のスキ	-ル確認を乳	<b>実施</b>				
		·						

+/_	I.I	実習	∌.⊓		· · · **/#		11 <i>5</i> .07	専門課程	作成月日	23/04/03
教	科	自動車整備作業	科目		シャシ整備		対象級	サービスエンジニア学 科1年	開講期	後期
教科	担当	春原雄一(一級自重	助車整備士)	・中村 泰史	.・関根 健・	臼居 史也・	中村 智恵			
実務網	圣験教員	損授業 非該当	総時限	84時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 単元·期末試験		
〔授業	概要·目	目的〕								
二輪及	び四軸	論自動車シャシの:	各装置につ	いて、基本	構造,作重	カ,機能,名	称の復習	と各装置の整備法の習	習得を目的。	とする。
〔授業	の到達	目標〕								
各装	置の点	検,調整,測定の	要領を習行	导、定期点	検(12カ月)	点検)導入,	及び記録	簿の記入要領の習得		
シャシ	電装品	各装置の機能・構	å造∙作動∙∶	整備項目の	)理解、電響	<b>長品の簡単</b>	な点検と良	と否判定の習得		
HMSI	E3級資		の習熟 ※	整備士とし	ての、心構	え, 基礎知	間識の習熟	と、応用作業が実践出	¦来る基礎σ	)習得
〔学習	評価の	基準〕								
各試縣	6点数0	D基準、レポート評	価及授業	の取り組み	を総合して	∵(5.4.3	2・1」の5	没階で表わす。		
5:特	に成績	優秀なもの 4∶原	<b></b> 裁績良のも	の 3:成績	きき 通のもの	ひ 2∶成約	責やや劣る	もの 1:成績特に劣り	J、不合格 <i>σ</i>	もの
各試	験点数	の評価は 5:90	~100点 4	4:75 <b>~</b> 89	点 3:60	~ 74点				
		60,	点未満の場	合は再試り	険を行う。 尚	的、再試験很	後の評価は	試験規程による。		
レポ・	一トの記	平価は 5:非常に	優れている	4:優れる	ている 3:	普 通 2	: やや劣る	1:劣る(再提出の必	要がある)	
〔使用	教科書	•教材等〕								
三級自	動車シ	ノヤシ, 電装品構造	造, 三級二韓	論自動車, 1	HMSE3級,	テキスト,	他			
				授	業計画	表				No. 1
実務経験	標準時限					授業内容(:	項目)			
	4	日常点検、オイル	交換他							
	4	オートマティック・	トランスミッ	ション構造						
	4	オートマティック・	トランスミッ	ション構造	/油圧制御					
	4	タイヤ・ホイール	整備Ⅱ							
	8	ブレーキ整備Ⅰ、	Ⅱ/ブレー	キ単品での	)構造,機能	<b>能復習</b>				
	4	真空式制動倍力	装置(単品	)						
	2	制動倍力装置の	機能点検(	実車)						
	6	ホイール・アライス	ペント測定							
	2	クラッチの作動点	検と整備/	クラッチ脱え	<b>É</b> —————					
	4	[2輪]プロリンク・	サスペンシ	タンと周辺	構造					
	4	[2輪] ディスク・	ブレーキ点	検整備						
	4	[2輪]12ヶ月点村	<b></b>							
	4	[4輪]12ヶ月定算	胡点検+日	常点検						
		電装 復習実習(								
	4	半導体(ダイオー	ド、トランジ	スタ、論理	回路、コン <sup>・</sup>	デンサ回路	;)			
	4	保安装置1(ウイ	ンドシールト	・・ワイパ)						

教	£:l	実習	科目	シャシ整	文借	対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
- X	1-1	自動車整備作業	14 🗆			×1 3×19X	<b>科1年</b>	開講期	後期
				授 業 計	画 表				No. 2
	4	保安装置2(計器	:)						
	2	灯火装置1(単品	)						
	2	灯火装置2 (実	車)						
	2	灯火装置3 (2輔	<b></b> 角)						
	2	灯火装置4 (復	習)						
	4	パワーウインド	(単品)						
	4	エアコンディショブ	トエアコン	の基本作動(冷凍・	サイクル)				

教	科		実習	科目	宴•□鮨	扁車整備	二輪車整	対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
72	11	自動車	整備作業	1711	× —#	十正洲	備	7.1 3N 119X	カ1年	開講期	後期
教科	担当	谷口敬	▼関根 健	-		1	7				
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	4時限	授業方法	実習•実技	評価方法	実習試験		
〔授業	概要∙目	目的〕									
ж =	輪車エ	ンジン、	、フレーム、	電装の各類	装置につい	て、基本構	造と整備の	)理解度試	験		
•前期	、後期紀	総合実	習確認試驗	È							
〔授業	の到達	目標〕									
* 基	本構造	きと名称	の習得確	認							
* 2	·部品0	つ役割と	≤機能の習	得確認							
* ホ	ンダ2軸	角サービ	<u> </u>	ニアHMSE	の基礎習行	导確認					
[学習]	評価の	基準〕									
各試駁	6点数0	D基準、	レポート評	価及授業の	の取り組み	を総合して	∵√5⋅4⋅3⋅	2∙1」の5Ⴜ	没階で表わす。 		
5:特	に成績	優秀な	こもの 4:5	<b>対績良のもの</b>	の 3∶成績	普通のもの	り 2∶成約	責やや劣る	もの 1:成績特に劣り	、不合格の	もの
各試	験点数	の評価	5:90	~100点 4	1:75 <b>~</b> 89	点 3:60 4	~ 74点				
			60 g	点未満の場	合は再試り	検を行う。 尚	1、再試験後	後の評価は	試験規程による。		
レポー	一トの語	平価は	5:非常に	優れている	4:優れる	ている 3:	普通 2	: やや劣る	1:劣る(再提出の必要	要がある)	
〔実務	経験の	ある教	員による授	業〕							
自動	車整備	i±كال	て実務経験	のある教員	員が、整備3	現場で必要	な作業方法	去・知識につ	ついて、		
実務	経験を	活かし	てより実践	的内容を指	導し授業を	を行う。					
				<b>!</b> イクロメータ・タ							
3級二	輪自動	車、ホ	ンダHMSE	E3級テキス				エンジン単体	z)		
					授 	業計画					No. 1
実務経験	標準時限						受業内容()				
	2			整備/始							
	2	2輪自動	動車の確認	R試験/【1】な	始動装置 <i>σ</i>	)点検整備	【2】各部の	則定と良否	判断【3】定期点検整備	<b>†</b>	

大教	利日	実習	小教科目	<b>4</b> 00	· 合白動車敷/i	性	計争级	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
人叙	竹日	自動車整備作業	小软件日	TVC	合自動車整個	川	対象級	りーピスエンジニテ子 科1年	開講期	通期
教科	担当	春原雄一(一級自動	動車整備士)	・中村 泰史	.・関根 健・臼	3居 史也・	中村 智恵			
3211		加賀美 直人・細川	│ 正博·福泊	:篤史・谷口	」 啓 					
実務約	圣験教員	負授業 非該当	総時限	16時限	授業方法	実習·実技	評価方法			
〔授業										
•実習	授業の	理解度確認のたる	めの実技試 	,験						
〔授業										
•詳細	は試験	規定にのっとって	実施する。							
( <del>/ -</del> m -	W 7.1 <del>-1</del> -	+1 +1 +++>								
		·教材等〕 								
•試験	問題 •	車両教材 単品	ı教材 ————		W - I					
実務経験	描准吐阳			授	業計画	表  受業内容(J	月日 /			No. 1
天伤衽駅	是	 ·エンジン構造実	型磁钢钳 #		XI X	<b>大门台</b> (5	タロ/			
	2	・シャシ構造実習								
	2	- ・エンジン構造実 ・エンジン構造実								
	2	<ul><li>・シャシ構造実習</li></ul>								
	2	<ul><li>・エンジン整備実</li></ul>								
	2	<ul><li>・シャシ整備実習</li></ul>								
	2	 ·エンジン整備実	習確認期末	 <試験2						
	2	<ul><li>・シャシ整備実習</li></ul>	 '確認期末訪	 t験2						

教	科		一般	科目		安全運転学			対象級	専門課程サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
		春原雄	—(一級 <b>自</b> 重	動車整備士)	·中村 泰史	 -関根 健・B	3居	史也•	中村 智恵	科1年	開講期	通期
教科	担当			。 正博・福泊			-,,,	~	117 1170			
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	13時限	授業方法	講	義	評価方法			
〔授業	概要·目	的〕										
・自動	車業界	の一員	であること	を自覚し、	現律の大切	」さと他人と	の協詞	調を割	<b>養う。。</b>			
安全	運転の	思想『丿	人間尊重』	を学ぶ。								
〔授業	の到達	目標〕										
① 安	全運転	を中心	に実施する	るが、整備の	寺の安全に	対する取り	組み	まで瓜	はげて理解	させる		
こオ	いらによ	り、交	通社会にお	いて安全道	重転の実践	のみならず	•					
職均	昜(具体	めには	は整備作業	)での安全·	作業能力を	養う。						
[学習]	評価の	基準〕										
〔使用	教科書	•教材等	等〕 —————									
セーフ	ティライ	イディン	グ、セーフ・	ティードライ		ュートンブレ						
					授 	業 計 画						No. 1
実務経験	標準時限				_		受業内					
						レインボー	奇玉)	四輪.	車運転の基	- 		
				レーニング								
	2	ブレー	キの必要性	生•車間距离	推の話(テキ	テスト: Newto	on Br	ake)				

教	科		一般	科目		接客実務			対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
			<i>11</i> 2	I		12 12 23			7°3 23°412	科1年	開講期	<u>通期</u>
教科		春原雄	一(一級自重	协車整備士)	・中村 泰史	・関根 健・Ⅰ	臼居 5	也!	中村 智恵			
<del>3</del> 2,14		加賀美	直人·細川	正博∙福泊	1 篤史·谷口	] 啓						
実務約	圣験教員	授業	非該当	総時限	10時限	授業方法	講	義	評価方法	評価なし		
〔授業	概要∙目	目的〕										
* 一年	生に対	寸し働く	ことの意味	を理解させ	、サクセス	プランに結	び付け	る。				
*特に	販社に	こ対し、	興味をもた	せるように	する。							
〔授業	の到達	目標〕										
① 就	職活動	時に必	要となるス	キルを身に	こ付けさせる	<b>5</b> .						
② 広	く接遇の	の基本	マナーを身	に着け、最	小限のマフ	ナーを身に	つけさ	せる。				
3 H	ADNC	の企業	活動の理解	解を通じ、持	接遇の基本	を理解する	00					
④ ⊐	ミュニク	「一ショ	ン能力の向	]上を図る。								
〔学習	評価の	基準〕										
試験	点数の	基準を	√5.4.3	·2·1」の5	没階で表わ	す。						
試験	点数の	評価は	5:90 ~	100点 4:	75 ~ 89点	3:60 ~	74点					
60点	未満の	り場合に	は再試験を	行う。尚、耳	再試験後の	評価は試験	験規程	によ	る。			
〔実務	経験の	ある教	員による授	業〕								
自動	車整備	i±کار	て実務経験	のある教員	員が、整備3	現場で必要	な作	美方法	去・知識につ	ついて、		
実務	経験を	活かし	てより実践	的内容を指	導し授業を	を行う。						
〔使用	教科書	・教材等	等〕									
専科研	F修新力	しサーヒ	ごススタッフ	の基礎と接	送遇							
					授	業計画	表					No. 1
実務経験	標準時限					ŧ	受業内	容(]	頁目)			
	1	HOND	Aの企業活	動/HOND/	4の基本理	念(自立•平	≆等∙信	頼).	及び社是・	運営方針·企業活動		
	1	接遇の	基本1/自	己認識の重	重要性/自分	分の強み、	生格、	タイフ	゚を知る			
	1	仕事に	対する興味	未と価値観ん	/各自の興	味と価値観	を洗し	い出す	-			
	1	社会人	、に求められ	1る「接遇マ	ナーの基準	本」						
	1	第1印	象の重要性	<b>±</b>					・身だしな	みの重要性を理解		
	1	名刺の	)扱い方(ロ	ープレ)					·名刺の耶	双り扱い方法		
	2	2輪4輔	の販売会	社について					•直近状》	兄を基に将来の進路を		
	2	社会人	、に求められ	1る「接遇マ	ナーの基準	本」			(復習)			

#### 授業計画(シラバス)

				授業	計画	シ	フ	バス)				
教科		学科	科目		応用エンジン	,		対象級	専門課程サービスエ	いぶーマ学	作成月日	23/04/03
<del>7</del> X 17	自重	動車工学	17 11	,	心用エンソン			<b>刈</b>	りー 科2年	フソード子	開講期	前期
教科担当	岡地	智行∙渡部	孝昭•木野内	英和(一級	及自動車整備	請士) • イ	坛 弘	幸·君塚 真	之佑			
実務経験教員	授業	非該当	総時限	19時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験	期末試験		
〔授業概要•目	目的〕											
・ガソリン・	・エンジ	ンの基本的	勺構造、効率	∞を理解す	る。							
・エンジン	制御の	必要性と電	<b>②子制御装</b> 記	置の仕組み	を理解する	5.						
〔授業の到達	目標〕											
・エンジン	の作動	、効率、排	ガスについ	て理解する	らこと。							
<ul><li>可変バル</li></ul>	レブタイ	ミング/リ	フト機構の』	必要性と作	動原理を理	解す	る。					
・エンジン	補機、	アクチュエ-	ータの作動、	制御を理	解する。							
〔学習評価の	基準〕											
<b>夕 =+ E</b> ◆ 上 *h ℓ	n # :#	1.4° L=	7年12年2	7) Ha   1 &   7	ナ巛ム」ァ	ГЕ	1 0	0.1.055	ルルスキャ	+		

各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り不合格のもの

各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点

60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)

#### 〔使用教科書·教材等〕

・二級ガソリン自動車エンジン編(日本自動車整備振興会連合会)、パワーポイント、i-Pad

		授 業 計 画 表	No. 1
実務経験	標準時限	授業内容(項目)	
	1	ガソリン・エンジンの燃焼、性能、損失、体積効率、充填効率、出力試験、ノッキング、排ガス発生理論等	<b>.</b>
	1	燃焼室、シリンダ・ヘッド・ガスケット、シリンダ、ライナ突き出し高さ、ピストン、ピストン・リング、コンロッド	
	1	一次慣性力・二次慣性力の発生メカニズム、振動低減方法のしくみ、バランサ機構の作動について	
	1	バルブ開閉機構 機構作動について理解する。	
	2	可変バルブ・タイミング機構の構造・作動・機能について理解する。	
	2	ホンダVTECシステムの種類、構造・作動・機能について理解する。	
	1	潤滑・冷却装置復習と、応用的機構(オイルの循環、冷却、油圧の制御)について理解する。	
	1	ダイオードの種類、整流回路、低電圧回路、スイッチング回路、発振回路、論理回路等を理解する。	
	2	バッテリの種類、機能、起電力、特性曲線、容量、始動性能、スタータの特性、各点検方法を理解する。	
	2	点火時期制御の必要性、実施内容、イグニッション・コイル、スパーク・プラグの仕組みを理解する。	
	2	電子制御装置の必要性、役割り、各センサの種類、仕組み、役割りを理解する。	
	1	インジェクタの駆動回路及び、ECUによる各制御内容を理解する。	
	1	ISCVの種類・役割・働き・各制御について理解する。	
	1	点火制御装置、電子スロットル装置について理解する。	

教	科	.e	学科	科目		応用ジーゼル	l		対象級	専門課程サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
<del>1</del> X1	17	自重	動車工学	14 [	,	WHO EN			<b>入] 3入川</b> X	科2年	開講期	前期
教科:	担当	岡地	智行•渡部	孝昭•木野内	英和(一約	吸自動車整備	請士)∙伝	弘幸	・君塚 真	[之佑		
実務紹	E験教員	授業	非該当	総時限	18時限	授業方法	講	義言	平価方法	期末試験		
〔授業権	既要∙目	目的〕										
・ジ	ーゼル	・エン	ジンの概要	が理解でき	ること。							
• ==	モン・レ	ールョ	式高圧燃料	噴射装置の	)構造•作動	動が理解で	きること。	0				
〔授業の	の到達	目標〕										
・ジ	ーゼル	エンジ	ンの燃料	費射機構の	種類、特徴	を理解する	) <sub>o</sub>					
• 噴	射制征	のパイ	イロット、プ	レ、アフター	、ポスト噴	射の役割、	名称を理	里解す	する。			
• #	プライ	ポンプ	の種類、流	量制御方式	で理解す	る。						
〔学習記	評価の	基準〕										
各試験	点数0	)基準	、レポート討	平価及授業の	の取り組み	を総合して	、「5∙4∙	.3.2	·1」の5₽	没階で表わす。		
5:特	に成績	優秀な	よもの 4:5	<b></b> 成績良のも	の 3:成績	責普通のもの	D 2:J	成績	やや劣る	もの 1:成績特に劣り	不合格のも	ග
各試	験点数	の評価	5:90	~100点 4	1:75 ~ 89	点 3:60~	~ 74点					
60点	未満0	D場合	は再試験を	行う。尚、拝	再試験後 <i>σ</i>	)評価は試験	険規程に	こよる	0			
レポー	ートの言	平価は	5:非常に	優れている	、4:優れ <sup>-</sup>	ている 3:1	普 通	2:1	やや劣る	1:劣る(再提出の必	要がある)	
〔使用都	<b>教科書</b>	·教材:	等〕									
- 二級カ	ガソリン	//ジー	ゼル自動車	車エンジン線	(日本自動	助車整備振	興会連合	合会)	、パワー	ポイント、i-Pad		
					授	業計画	ī 表					No. 1
実務経験	標準時限					ŧ	受業内容	字(項	目)			
	2	始動物	長置/リダク	ション・スター	ータの仕組	み、始動特	性、スタ	タータ	の特性、	各点検方法		
	2	充電物	長置/励磁コ	<b>式オルタネー</b>	-タの仕組	み、ボルテ-	ージ・レニ	ギュレ	/一タ、充	電制御機能、各点検フ	方法	
	2	ジーセ	゙゙ル・エンジ	ンの工学関	係(燃焼、	性能、損失	、効率等	手)				
	1	列型イ	′ンジェクシ	ョン・ポンプ	本体の構造	<b>造、作動、</b> 噴	射量制	御				
	2	コモン	レール式高	<b>S</b> 圧燃料噴卵	討装置、各·	サプライ・ポ	ンプ、ソ	レノー	イド式イン	·ジェクタの構造・作動		
	2	高圧燃	燃料噴射装	置に使用さ	れる各セン	サの作動・	構造、E	ECU	の働き			
	2	ユニッ	ト・インジェ	クタ式高圧	燃料噴射	<b>麦置/吸排</b>	気装置					
	1	予熱物	き この必要	性、種類、二	ロンジンとの	の組み合わ	せ、グロ	17	プラグ			
	2	故障部	诊断に備え:	たサービス・	マニュアハ	レの使い方を	を習得					
	2	電気回	]路点検復	習/回路図。	より電気の	流れ理解/	電流・電	圧の	推理及び	<b>ぶ測定点検</b>		

大教	科日	学科	   小教科目		応用シャシ		対象級	専門課程 サービスエ	ンジニア学	作成月日	23/04/0
八软	17 🖂	自動車工学	11.474.14		いいコンドン		小沙外似	りー 科2年	- / 一 / 丁 	開講期	前期
教科	担当	駒崎 勝紀 大石 i	尚樹(一級自動	動車整備士	・河智 是明・	成松 樹生	・前田 優祐・	小川 幸雄			
実務糺	圣験教員	員授業 非該当	総時限	36時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験	期末試験		
授業	概要∙₿	目的〕									
2•3級	シャシ	教科書を基に、2	2級ガソリン・	・ジーゼル(	のシャシ系の	構造、機	能及び作動	かを理解させ	ţる。		
授業	目標〕										
■走行	抵抗と	≤駆動力、駆動力	と走行性能	の関係	動力伝達装詞	置の概要	、構造・機能	能の理解			
■アク	スル・	サスペンション、ス	ステアリング	装置、ホイ	一ル及びタイ	イヤ及びた	トイール・ア	ライメントの	概要、構造	・機能の理	]解
■ブレ	一牛装	置、フレーム及び	ゾボディの概	₹要、構造・	機能の理解						
■電気	、装置、	計器•警報装置	、外部診断植	幾、空気調	和装置、電気	表装置の	配線、付属	装置の概要	、構造∙機能	能の理解	
■保安	基準道	<b>適合性の確保、点</b>	検の目的・	要領・記録	簿の記入方	法の理解	}				
使用	教科書	·教材等〕									
8•2級	シャシ	、電装品構造、自	自動車定期点	点検整備の	手引き、配約	泉図集、/	パーツリスト	、サービスの	の基礎、PC		
8•2級	シャシ	、電装品構造、自	自動車定期点		手引き、配線 業 計 画		パーツリスト	、サービスの	の基礎、PC		No. 1
	標準時限	、電装品構造、自	自動車定期点		業計画			、サービスの	の基礎、PC		No. 1
		、電装品構造、E 点検の目的・要		授	業計画授	表	項目)	、サービス(	の基礎、PC		No. 1
	標準時限		領·点検整備	授	業計画授	表	項目)	、サービスの	の基礎、PC		No. 1
	標準時限 1 1	点検の目的・要な	領・点検整備 デー(構造 <i>の</i>	授 事要領 (匹 )理解)	業計画授	表 美内容(	項目) 車)				No. 1
	標準時限 1 1	点検の目的・要なフレーム及びボ	領・点検整備 デー(構造 <i>の</i> イヤ(構造・标	授 ・ 要領(四 ・ の理解) ・ 機能の理解	業計画授輸自動車、	表 受業内容( 二輪自動 ・摩耗の科	項目) 車)				No. 1
	標準時限 1 1 2	点検の目的・要・ フレーム及びボ・ ホイール及びタ・	領・点検整備 デー(構造の イヤ(構造・ħ スペンション	提 受 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	業計画 授 輪自動車、ご 、点検整備 能及び性能の	表 受業内容( 二輪自動 ・摩耗の和 の理解)	項目) 車) 重類及び異				No. 1
	標準時限 1 1 2 3	点検の目的・要な フレーム及びボー ホイール及びター アクスル及びサ	領・点検整備 デー(構造の イヤ(構造・村 スペンション 加車の性能、	提 受 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	業計画 授 輪自動車、ご 、点検整備 能及び性能の	表 受業内容( 二輪自動 ・摩耗の和 の理解)	項目) 車) 重類及び異				No. 1
	標準時限 1 1 2 3	点検の目的・要な フレーム及びボー ホイール及びター アクスル及びサー シャシ総論(自動	領・点検整値 デー(構造の イヤ(構造・植 スペンション 功車の性能、	授 ・要領(匹) ・理解) ・機能の理解 ・機能 ・機能 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	業計画 接輪自動車、 ないは は及び性能の と駆動力及び	表 受業内容( 二輪自動・摩耗の和 の理解) が走行性(	項目) 車) 重類及び異 能)	常現象理解	<b>?</b> )		No. 1
	標準時限 1 1 2 3	点検の目的・要な フレーム及びボーホイール及びターアクスル及びサーシャシ総論(自動 日産4ATの構造	領・点検整値 デー(構造・植 イヤ(構造・植 スペンション 加車の性能、 こ	授 ・理解) 機能の理解 (構造・機能 走行抵抗。 の仕組み、	業計画 授輪自動車、 な人検整備 能及び性能の と駆動力及び 電子制御装	表 受業内容( 二輪自動 ・摩耗の和 の理解) が走行性に 置、油圧	項目) 車) 重類及び異 能) 制御装置及	常現象理解なび安全装置	置の理解)		No. 1
	標準時限 1 1 2 3 1 4	点検の目的・要な フレーム及びボーホイール及びターアクスル及びサーシャシ総論(自動 日産4ATの構造 (プラネタリ・ギャ	領・点検整値 デー(構造・構 イヤ(構造・材 スペンション 加車の性能、 は マ式AT変速の ・機能の理角	授 ・要領 (匹) 要解) 機能の理解 (構造・機能 走行抵抗。 の仕組み、 マ 、オート	業計画 授軸自動車、 ・ 点検整備・ ・ に及び性能の と駆動力及び 電子制御装 エアコン、サ	表 学 大	項目) 車) 重類及び異 能) 制御装置及 ・コンデンサ	常現象理解なび安全装置	置の理解)		No. 1
	標準時限 1 1 2 3 1 4	点検の目的・要領 フレーム及びボーホイール及びターアクスル及びサーシャシ総論(自動 日産4ATの構造 (プラネタリ・ギャエアコン (構造	領・点検整値 デー(構造・構 イヤ(構造・材 スペンション 加車の性能、 コマ式AT変速の ・機能の理解 一ツ検索方	授 需要領 (匹) 選能の理解 (構造・機能 走行抵抗。の仕組み、 マ 、お品及	業計画授品を開き、1000円の100円の100円の100円の100円の100円の100円の100	表 学 大	項目) 車) 重類及び異 能) 制御装置及 ・コンデンサ G備・注意点	常現象理解 なび安全装置 ・・システムな の理解	子) 置の理解) 各制御の理	<b>型角军</b> )	No. 1
	標準時限 1 1 2 3 1 4 1	点検の目的・要で フレーム及びボーホイール及びターアクスル及びサーシャシ総論(自動 日産4ATの構造 (プラネタリ・ギャ エアコン (構造 パーツリスト(パ	領・点検整備デー(構造・材 イヤ(構造・材 スペンション カ車の性能、 対車の性能、 で式AT変速の ででででは、 ででででは、 ででででは、 でででできる。	授 需要領 (匹) 機能の理解 (構造・機能 を表する。 のは、おいる。 のは、おいる。 のは、は、のは、は、のは、は、のは、は、のは、は、のは、は、のは、は、のは、	業計画授品を開き、1000円の100円の100円の100円の100円の100円の100円の100	表 学 大	項目) 車) 重類及び異 能) 制御装置及 ・コンデンサ G備・注意点	常現象理解 なび安全装置 ・・システムな の理解	子) 置の理解) 各制御の理	<b>型角军</b> )	No. 1
	標準時限 1 1 2 3 1 4 1	点検の目的・要ででは、 カレーム及びボーボイール及びターアクスル及びサージャシ総論(自動日産4ATの構造(プラネタリ・ギャエアコン (構造パーツリスト(パステアリング装置	領·点検整値 デー(構造・ イヤ(構造・ オスペンの性能、 サスエの性能、 サスエのでで、 サインのでで、 サインのでで、 サインので、 サインを サインので、 サインので サインの サインの	授	業計画 授軸自動車、記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表で、大学のでは、まればればればればればればればればればればればればればればればればればればれば	項目) 車) 重類及び異 能) ・コンデンサ ・備・注意点 オイルポン	常現象理解 なび安全装置 ・・システムギ の理解 プの構造・作	置の理解) 各制御の理 作動・機能の	2解)	No. 1
	標準時限 1 1 2 3 1 4 4 1 3	点検の目的・要ででは、 カレーム及びボーボイール及びターアクスル及びサージャシ総論(自動 日産4ATの構造 (プラネタリ・ギャーエアコン (構造 パーツリスト(パーステアリング装置 電動パワー・ステ	領·点検整備デー(構造・材 イマペンの性能、 すって、機をはないない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	要ののでは、できます。 要のでは、できます。 要のでは、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり	業計画 接動車、記録を備がまた。 に及び動力及び電子コンクスを表がした。 でフレーキをでする。	表で、大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	項目) 車) 重類及び異 能) 制御装置及 ・コンデ 意点 オイルポン	常現象理解なび安全装置・システムの理解の構造・作、制動時の	置の理解) 各制御の理 作動・機能の 不具合現象	2解)	No. 1
	標準時限 1 1 2 3 1 4 1 3	点検の目的・要で フレーム及びボーホイール及びターアクスル及びサーシャシ総論(自動 日産4ATの構造 (プラネタリ・ギヤエアコン (構造 パーツリスト(パ ステアリング装置 電動パワー・スラ	領·点検整値 デー(構造・植 イヤペン 動 ・ 式 本 の 性 を で ・ 機 ツ 旋 リン レ ・ で ・ で 型 限 型・イン ・ で 型 で で で か こ で か で か で か で か で か で か で か で	授 要領解の理様のでは、 要はは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	業計画 接動車、 なな動車、 を取動力のを を取動力のでする。 では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	表で発生を表でいる。また、表で、のでは、できます。また。これでは、できまれている。また、のでは、できまれている。また、のでは、できまれている。また、のでは、できまれている。また、のでは、できまれている。	項目) 車) 重類及び異 能) 制御装デンサ は ボイルポン 、機能構造 構造・機能	常現象理解なび安全装置・システムの理解の構造・作、制動時の	置の理解) 各制御の理 作動・機能の 不具合現象	2解)	No. 1
	標準時限 1 1 2 3 1 4 1 3 4 2 2	点検の目的・要領 フレーム及びボーホイール及びタイアクスル及びサーシャシ総論(自動 日産4ATの構造 パラネタリ・ギヤエアコン (構造 パーツリスト(パステアリング装置 電動パワー・スラブレーキ装置(ブ 差動機構(差動機	領・・点検整備ディンは、 では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、ないでは、ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	世界では、まの理機を構作している。 要理能のは、は、の理機を構作している。 では、は、の理機を構作している。 では、の理機を構作している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理機を対している。 では、の理解を対している。 では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	業計画 接軸 動車、 になび力 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	表で発生を表でいる。また、表で、のでは、できます。また。これでは、できまれている。また、のでは、できまれている。また、のでは、できまれている。また、のでは、できまれている。また、のでは、できまれている。	項目) 車) 重類及び異 能) 制御装デンサ は ボイルポン 、機能構造 構造・機能	常現象理解なび安全装置・システムの理解の構造・作、制動時の	置の理解) 各制御の理 作動・機能の 不具合現象	2解)	No. 1
	標準時限 1 1 2 3 1 4 1 3 4 2 2	点検の目的・要領 フレーム及びボーホイール及びタイアクスル及びサーシャシ総論(自動 日産4ATの構造 パラネタリ・ギャエアコン (構造 パーツリスト(パステアリング装置 電動パワー・スラブレーキ装置(ブ 差動機構(差動/ホイールアライス)	領・点検整備ディス・点検をはっている。 では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	世のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、のでは、は、では、では、いいでは、いい	業計画 接輪自動車、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	表の発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を表する。またのでは、これを表しています。	項目) 車類及び異能) ・コ焼・オール・横・横・横・横・横・横・横・横・横・横・横・横・横・横・横・横・横・横・横	常現象理解なび安全装置からないとの理解の構造・作い、制動時ので	置の理解) 各制御の理 作動・機能の 不具合現象 理解)	2解)	No. 1

大教	科目	学科	小教科目	自動車総論Ⅱ			対象級	専門課程サービスエ	ンジニア学	作成月日	23/04/03		
		自動車工学						科2年		開講期	前期		
教科:	担当	浅井直道・岡地智行・大石尚輝・木野内英和・駒崎勝紀(一級自動車整備士)											
河智是明·前田優佑·伝弘幸 実務経験教員授業 非該当 総時限 19時限 授業方法 講 義 評価方法 学科試験 期末試験													
			総時限	19時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験	期末試験			
〔授業 ————————————————————————————————————						<u> </u>							
•二級[	自動車	整備士に必要な	基礎計算力 ————	、基礎工学 ————	≜の知識を身	計に付	ける。	0					
CTO # 1													
「授業目標」 - 二級敦催士」がよの総論・工党の問題を紹えれた息に仕は、二級敦催士試験に借える													
・二級整備士レベルの総論・工学の問題を解く力を身に付け、二級整備士試験に備える。													
	・単位・公式を覚え、計算問題を繰り返し行い、記憶の持続力と計算の応用力を高める。												
・図を活用してイメージを高め、理解力を高める。 													
「使用者	<b></b>	 •教材等〕											
		************************************		 ーポイント <sup>:</sup>	 沓料. プリン		 払. i–l	 Pad					
Πι <del>Στ</del> ι	<u>"                                    </u>	ノ・・ノ <u>(上 マ) 戸 ()</u>	<u> </u>				7					No. 1	
実務経験	標準時限	授業的國教											
	2	SI単位と用語(単位の表わし方)											
		荷重の計算 I (テコの原理、軸重の計算、前/後軸と重心の距離の計算)											
	2	荷重の計算Ⅱ (レッカー車の軸重計算)											
		圧力の計算(ハ	 パスカルの原	理、圧力と	<u>-</u> 上力の違い)								
	2	ギヤ比の計算 (変速比、減速比、プラネタリ・ギヤの変速比)											
	2	性能曲線の計算 I (エンジン性能曲線、走行性能曲線、出力の計算、車速の計算)											
		性能曲線の計算 II (トルク・コンバータ性能曲線、スタータ・モータの性能曲線)											
	2	走行性能の計算 (速度、加(減)速度、燃料消費率、走行抵抗(力)、出力、メーター誤差)											
	2	トルクの計算(軸トルク、駆動トルク)											
		排気量関係の計算 (排気量、圧縮比、平均ピストン速度)											
	2	電気の計算 (オームの法則、直列接続の抵抗計算、並列接続の抵抗計算、電圧降下、電力)											
	2	基礎工学の復習(工学系問題の復習、基礎工学教科書の復習)											
	2	総合理解度確認	(全項目の	り練習問題	<u>i</u> )								
	1	自動車総論Ⅱ期	末試験										
						-	-						

		244 T.I							専門課程	作成月日	23/04/03			
教	:科	学科 自動車工学	科目 故障探求エンジン				対象級	サービスエンジニア学 科2年	開講期	後期				
 教科	担当		 孝昭·木野内	】 7 英和(一級自動車整備士)·伝 弘		┃ 幸·君塚 ‐	<u> </u>	1313111333	i					
	经験教員	1	総時限	25時限	授業方法	講		評価方法	単元·期末	 試験				
	概要∙目				15.11.1.2.1	<u> </u>		A	1					
		「取扱いの知識・技	支能を修得す	 する。										
		ッド、環境問題に			 -る。									
	シリン		ジン異常時の	の故障原因		をつけ	る。							
		≜んだことを復習す												
	の到達													
• /	イブリ	・・・・・ ッドバッテリに関す	 る作業を安	全に行う	田識を習得	する。								
		この手順と手法を												
• 2	年間で	学んだことを体系	的に理解し	車1台分 <i>0</i>	 )知識を定 <sup>5</sup>	ーーー 着させ	る。							
	評価の						-							
各試勵	食点数0	 D基準、レポート評	平価及授業の	の取り組み	 を総合して	΄, Γ5.	4.3.	2·1」の5	 没階で表わす。					
5:特	に成績				 普通のも0	D 2	:成約	 責やや劣る		 リ、不合格の	もの			
各試	験点数	の評価は 5:90	~100点 4	l:75 <b>~</b> 89	点 3:60~	~ 74 <u>r</u>	<u> </u>							
		60,	点未満の場	合は再試	 澰を行う。 尚	<b>)、再</b> 記	式験後	 後の評価は	試験規程による。					
レポ	一トの፤	平価は 5:非常に	優れている	4:優れ <sup>-</sup>	 ている 3: <del>1</del>	普通	2	: やや劣る	1:劣る(再提出の必)	要がある)				
〔使用	教科書	•教材等〕												
二級カ	j ソリン	教科書、二級ジー	ゼル教科書	書、電気自	 動車整備特	別教	育テキ	キスト、プリ	ント、i-Pad					
				授	業計画	表					No. 1			
実務経験	標準時限				- 1	授業内	]容(]	項目)						
	4	低圧電気取扱い	業務 電気	自動車整備										
	1	半導体復習 半導	算体の種類.	、特性、使	われ方理解	4								
	1	1 バッテリの種類・ネ												
	1	1 センサ全般復習 自動車の車輌に使われている各センサの構造、機能、役割復習												
	1	1 始動装置復習/スタータの出力特性、リダクション・スタータの仕組み、始動特性、スタータの特性、各点検												
	1	充電装置復習/充電装置の構造、作動、点検等復習												
		潤滑装置復習/基本的構造役割、応用的機構の理解/冷却装置復習(粘性式ファンクラッチ等)												
	1	川川衣旦12日/3				1 吸排気装置/ターボ・チャージャ、スーパ・チャージャ、可変吸気装置の理解								
				ジャ、スーノ	パ・チャージ	ヤ、可	変吸	気装置の現	里解					
	1		-ボ・チャーシ			ヤ、可	変吸	気装置の理	里解					
	1	吸排気装置/ター	ボ・チャーシリン、軽油の	特徴•分類	頁理解									
	1	吸排気装置/ター燃料・油脂/ガソ!	ボ・チャーシ リン、軽油の 【ガスの種類	特徴・分類 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 7 5 7 5 7	頁理解									

SE3級各テキストで今までの学習内容を復習する。

ジーゼル車の排気ガスの種類と発生理論、対策方法、対策部品・構造を理解

大教科目		学科 自動車工学	小教科目	応用工	ンジン	対象級	専門課程 サービスエンジニア学 科2年	作成月日	23/04/03			
実務経験	標準時限											
	2	ジーゼルエンジ	ン 故障原	因探求								
	1	ガソリン・エンジ	ン 総復習									
	1	ジーゼル・エンジ	- ジン 総復習	ਸ =								
	[											

大教	科目	学科 自動車工学	小教科目	故障	章原因探求シ	ヤシ		対象級	専門課程サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03
数科:	<del> </del> 口	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	老叩。太野は	ュ 茁和(————————————————————————————————————	四一	<b>≛</b> - <b>+</b> \ • 4	- z.	去.尹塚 首	科2年 	開講期	後期
	担ヨ 圣験教員	1	多昭•不野区 総時限	16時限	双 日			辛·名塚 身	学科試験 期末試験		
	概要•目		松叶胶	10日4月2	<b>技未</b> 刀	神	我	計巡刀瓜	子件武贵 郑不武贵		
			 トービスエン	 ·ジニア3級	テキストを	其に、	ク級ナ	<b>・</b> ・ハリン・ジ	 一ゼルのシャシ系の構	告 機能	
		ローロングラック  と解し、点検方法を			7 171 6	<b>∠</b>	∠117 <b>∧</b> +		L/VV/ / - /N	TE V IX III	
		- In iser y in iser y in iser y									
		 食と点検整備要領	 の習得(保		 うの点検と <sup>;</sup>	検査基	準、	実施要領、	 検査機器取扱い、検査	<b>奎申請手続</b>	き)
■電気	.回路0	 D点検方法の習得		の理解、点	 ₹検方法、⊦	HDSσ	)概要	・機能及び	 ド操作方法の理解)		
■ホン	ダ車の	ABSの概要・構	 造及び機能	の理解(制	  御作動及で	び基本	点検	整備方法、	EBD制御、VSA制御	の理解)	
■ホン	ダ・リア	 プルタイム4WDの	·構造∙機能	の理解(ビ	 スカス式4\	WD、!	ノアル	タイムAW	 ′Dの構造・機能及び作	動の理解)	
■ホン	ダ車の	 ルエアコンの概要・	構造及び機	能の理解	 (構造•機能	を として として として といっと といっと といっと といっと といっと といっと といっと といっ	作動。	と、整備及	び性能テストの方法と	注意点の理	!解)
■電気	.装置 <i>0</i>	の概要、構造・機能	<b>ド及び整備</b> の	の理解(多	安全装置SI	RSな	<u>분</u> )				
〔使用	敗科書	•教材等〕									
2級シ <sup>.</sup>	ャシ、オ	マンダサービスエン	ノジニア3級	(SE3), É	1動車定期	点検素	೬備σ	手引き			
				授	業計画	表					No. 1
実務経験	標準時限					授業内	]容(]	頁目)			
	1	点検整備要領(2	4ヶ月点検の	の作業要領	の理解)						
									検査申請要領の理解) 		
	2	電気装置 電装の									
	1								整備技術の理解)		
		EPB(構造・機能									
									作動及び整備技術の	理解) ————	
		オートエアコン(根							마/ ᅷ /L fl. hn TH\		
		安全装置 SRS				<b>人機能</b>	り埋	解、 <b>整</b> 備	脫看•作虭処埋 <i>)</i> ————————————————————————————————————		
	2	VSA(構造·機能 	,可仰TF到	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(切理胜)						

大教	科目	学 自動 <sup>耳</sup>	·科 車工学	小教科目		新技術			対象級	専門課程 サービスエンジニア学 科2年	作成月日開講期	23/04/03
		浅井直道	[•岡地智行		 英和·大石	 尚樹(一級自	動車	と備士	:)			
教科		伝 弘幸	•河智是明	∙前田優祐								
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	6時限	授業方法	講	義	評価方法	今期評価なし		
〔授業	概要·目	]的〕										
•最新	技術の	知識、メ	ンテナンス	ス技能を修	得する							
〔授業	目標〕											
・アトキ	シソン	・サイクル	レの理論	•特徴を理解	解する							
・ホンタ	ダセンシ	ノングのイ	乍動•仕約	且みを理解す	する							
•EPB0	の作動	仕組み	を理解す	る								
〔使用	教科書	·教材等	)									
二級力	「ソリン	、二級シ	ャシ、SE	3級ハード	編							
												No. 1
実務経験	標準時限					±.	受業内	容(]	頁目)			
	3	最新エン	ジン構造	きとアトキン	ソン・サイク	クルの理解						
	3	運転支担	爰システム	Honda د	SENSIN	IG EPB機	能及で	<b>が構</b> 道	<u></u>			
							_	_				

大教	科日		学科	小教科目		自動車検査	:		対象級	専門課程サービスエ	ンジニア学	作成月日	23/04/03
7132	пн	自動	動車検査	3 3211 1					7.1 20/10/2	科2年	-27-71	開講期	後期
教科	担当	駒崎 朋	券紀·大石 尚	ń樹(一級自重	動車整備士)	•河智 是明	∙成松	樹生·	·前田 優祐·	小川 幸雄			
実務総	圣験教員	授業	非該当	総時限	13時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験	期末試験		
〔授業	概要∙目	目的〕											
2級シ	ヤシ教	科書及	.びホンダサ	トービスエン	·ジニア3級	テキストを	基に、	2級	<b>ゲソリン・ジ</b>	ーゼルのシ	ノヤシ系の構	造、機能	
及び作	動を理	軽解し、	点検方法と	上検査を習得	导させる。								
〔授業	目標〕												
■ホン	ダ車の	動力包	云達機構の	概要•構造	及び機能を	理解(各重	力伝	達装	置の特徴・	制御作動及	及び基本点	<b>负整備方法</b>	)
■ホン	ダ車の	新機構	構の構造、	機能及び作	動を理解(	運転支援シ	ノステ.	ム・El	PB・スマー	トキーシス	テム)		
■ホン	ダ車の	パワー	-ステアリン	⁄グの構造・	機能及び作	乍動の理解	(油圧	式パ	ワステアリ	ング、油圧	ポンプの構	造•機能及7	び作動)
(電動	パワー	ステア	リングの種	類、構造・榜	機能及び作	動とトルク	センサ	の構	造·作動、	コントローノ	レユニットの	制御の理解	4)
■ホン	ダ車の	)「多重	通信」、「外	部診断機」	及び「振動	・騒音に関	するタ	口識」	についての	理解			
■各剖	<b>『構造</b>	幾能に	ついての復	習と、点検	整備作業及	ひ検査作	業の項	頁目と	:基準及び	方法の理解	<del></del>		
〔使用	教科書	•教材	<del></del> 等〕										
2級シ	ヤシ、ナ	ナービス	スエンジニフ	ア(SE3)、沿	去令教本								
					授	業計画	表						No. 1
実務経験	標準時限					;	受業内	内容()	項目)				
	1	電子制	训御5AT(桿	構造∙作動∙ੰ	制御などの	理解)							
	1	ATの	整備 (測定	定及び整備に	方法の理解	翼)							
	1	ステア	リング装置	の復習(油	圧、電動バ	パワーステア	フリング	ブ装置	置の復習)				
	1	CVT(	構造·機能	及び作動、	基本点検】	及び自己診	断機能	能の理	里解、測定	及び整備力	5法の理解)		
	1	AT復	習(練習問題	題と解説に	よる復習)								
	1	ホンダ	・油圧式パ	パワーステア	リング(スラ	テアリング、	ポンフ	プ・ロ-	ータリバルこ	ブの構造及	び作動の理	 <b>[解</b> )	
	1	ホンダ	`•電動パワ	ーステアリ	ング(構造)	及び機能の	理解.	、作重	かと制御の <sup>3</sup>	里解)			
	1	運転支	を援システム	ム、Honda	a SENSIN	NG(構造及	び機能	能の理	里解)				
	1	検査ラ	7イン(基準	・機器の取	扱いの復習	3)							
	1	外部診	诊断機(活用	用方法及び	自己診断機	機能の理解!	)						
	1	ホンダ	゛車の新機棒	構(商品概要	要と新機構	及び整備、	多重证	通信の	D概要•機能	能及び作動	についての	理解	
	1	振動・	騒音全般技	支術 (概要	及び知識の	の習得)							
	1	期末学	2科試験										

		学科			4.71.4.1.10				専門課程		作成月日	23/04/03		
大教	科目	自動車整備に関 する法規	小教科目		自動車法規			対象級	サービスエ  科2年	ンジニア学	開講期	前期		
		浅井 直道·岡地	智行(一級自	動車整備士										
教科		河智 是明·前田	優佑・伝 弘	幸										
実務約	圣験教員	担授業 非該当	総時限	13時限	授業方法	講	義	評価方法	学科試験	期末試験				
〔授業	概要·目	的〕												
•自動	車整備	士に必要な法規	(道路運送耳	<b>直両法、道</b> 間	路運送車両	法の	呆安.	基準)を理解	解する。					
〔授業	目標〕													
•自動	車整備	士として仕事をし	ていく上で問	<b>関係する法</b>	令を、理解	、習得	する	0						
・実車	写真及	び教科書内過去	問などにより	法令の内	容及び用語	唇の理	解を	深める。						
〔使用	教科書	・教材等〕												
法令教	本(公	論出版社)、パワ	一ポイント資	賢料、i-Pad								Т		
	授業計画表 No. 1													
実務経験	標準時限		授業内容(項目)											
			動車に対する法規制の概要 (自動車に関する法令の種類と法体系の解説) 路運送車両法 (自動車の種類、登録、封印、打刻、臨時運行許可)											
	-	登録制度 (登録			封印、打刻	」、臨日	持運行	<b>于許可制度</b>	<u> </u>					
		保安基準 (自動			+1201-1	45 <b>-</b> 14	. ++ .4	- <b>-</b> 10 ±6 1	# = 3 A 3 A 4 A 4 A 4 A 4 A 4 A 4 A 4 A 4 A	八四末件。				
		点検整備制度 (							<b>備記録</b> 簿、	分解整備の	)定義) ————			
		検査制度 (検査							3/	4の油中市	<b>.</b> .			
		認証制度(自動									貝 <i>)</i> ————————————————————————————————————			
	1	指定制度 (優良								用の維持、				
	4	自動車検査員、(  自動車の構造 (								<b>新笙</b>				
	-	安定性、最小回転		*、▼○"幅	「同で、取犯	, IU I	<b>同</b> 。	1 异、早川1	心里里 "	生守、				
		自動車の装置・原		ンャシ関係	(原動機工	ろ 7 以 番 h	力伊	達集器 · #	:行生置 ±	显縱 <b>生</b> 署				
		かじ取り装置、施							-11					
		自動車の装置・耳							上装置. 座	まべルト 姿	 『ガラス <sup>)</sup>			
		自動車の装置・4												
		窒素酸化物排出									. ,			
		自動車の装置・炸			 介照灯、すれ	・違い	用前	照灯、配为	<b>光可変型前</b>	照灯、灯火	の個数、			
		車幅灯、側方灯												
	1	自動車の装置・炸	汀火関係Ⅱ	(尾灯、駐	車灯、後剖		器・オ	型後部反	射器、再帰	見見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見				
	1	自動車の装置・灯火関係皿 (制動灯・補助制動灯、後退灯、方向指示器、緊急制動表示灯、 												

教科担当	実習	科目		応用エンジン	,	対象級	専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03	
<del>7</del> X1-	4	自動車整備作業	17 0		心用エンノン		外外似	科2年	開講期	前期
教科担	旦当	岡地 智行·渡部	孝昭•木野内	英和(一組	吸自動車整個	備士)・伝 弘	幸•君塚 真			
実務経	験教員	担授業 非該当	総時限	30時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験 期末試験	レポート評値	<b></b>
〔授業概	要・ 目	目的〕								
<ul><li>サー</li></ul>	キット	テスタに加え、オ	シロスコーフ	プ、外部診し	断機の使用	方法を学習	3する。			
・ シス <del>-</del>	テムホ	ボードを通して電気	(回路の読耳	亙り、テスタ	の使用方	法を学習す	る。			
• 様々	なエン	,ジンの調整、メン	テナンス方	法を習得す	する。					
〔授業 <i>σ</i>	)到達	目標〕								
<ul><li>各測</li></ul>	定器、	診断機の操作方	法、作動原	理を理解し	し、1人でも	操作できる	ようにする	0		
・電気	回路を	を理解し回路図が	ら測定箇所	を判断で	きるようにす	る。				
・エン	ジンの	分解、組立、調惠	を手順通り	作業できる	るようにする	5.				
〔学習評	評価の	基準〕								
各試験。	点数0	)基準、レポート	平価及授業の	の取り組み	を総合して	[, Γ5·4·3·	2・1」の5拝	段階で表わす。		
5:特(	こ成績	優秀なもの 4:)	成績良のも	の 3:成績	養普通のもの	の 2∶成約	責やや劣る	もの 1:成績特に劣り	J、不合格 <i>の</i>	もの
各試縣	検点数	の評価は 5:90	~100点 4	1:75 ~ 89	点 3:60	~ 74点				
		60,	点未満の場	合は再試	験を行う。尚	的、再試験很	後の評価は	試験規程による。		
レポー	-トの言	平価は 5:非常に	優れている	4:優れ <sup>*</sup>	ている 3:	普 通 2	: やや劣る	1:劣る(再提出の必	要がある)	
〔使用教	<b>女科書</b>	•教材等〕								
各教材	車両、	教材エンジン、オ	シロスコー	プ、外部診	断機、モジ	ュールシー	ト、二級ガ	ソリン教科書		
				授	業計画	画 表				No. 1
実務経験	票準時限				į	授業内容(:	頁目)			
	4	導入(学科及び実	『習授業の記	说明)						
	2	オシロスコープ	操作と波形	点検						
	2	システムボード	回路点検							
	4	タイミングベルト	►脱着(SOH	C直列エン	<b>ッジン</b> )					
	4	タイミングベルト	►脱着(V型:	エンジン)						
	2	バランサ機構の	理解							
	2	可変バルブ機材	構の理解							
	4	HDS(外部診断	折機)の取扱	と自己診問	断					
	4	点火装置(実車	で正常な状	態での電	圧測定、点	火時期及び	各制御の	確認を実施)		
	2	総合スキル・チ	ェック							

			<b>—</b>						専門課程	作成月日	23/04/0
教	科	自動車	実習 車整備作業	科目		応用ジーゼル	L	対象級	サービスエンジニア学 科2年	開講期	前期
教科	担当	岡地	 智行•渡部	孝昭•木野内	   英和(一約	級自動車整備					
実務終	圣験教員	授業	非該当	総時限	30時限	授業方法	実験	評価方法	実習試験 期末試験	レポート評値	西
授業	概要∙目	目的〕				•		•			
始重	助装置	充電物	<b>走置の概要</b>	が理解でき	ること。						
ジー	-ゼル・	エンジ	ンの燃料項	貴射系が理解	解できるこ	<b>ك</b> 。					
授業	の到達	目標〕									
スタ	ータモ	ータ、フ	オルタネー・	タの点検を	正確に行う	事ができる	0				
ジー	-ゼルコ	「ンジン	ノンの構造	、特徴を理解	弾する。						
⊐ŧ	ンレー	ル式高	§圧燃料噴	射装置の構	成部品、作	作動原理を	理解する。				
学習	評価の	基準〕									
<b>}試</b> 駁	点数(	り基準	、レポート討	平価及授業の	の取り組み	を総合して	、「5·4·3	·2·1」の5	没階で表わす。		
5:特	に成績	優秀/	<b>なもの 4:</b> 月	成績良のも	の 3:成績	責普通のもの	) 2∶成績	績やや劣る	もの 1:成績特に劣り	リ、不合格の	もの
各試	験点数	の評値	五は 5:90	~100点 4	1:75 ~ 89	9点 3:60 €	~ 74点				
			60,	点未満の場	合は再試	験を行う。尚	,再試験很	後の評価は	試験規程による。		
レポ・	ートの語	平価は	5:非常に	優れている	4:優れ <sup>・</sup>	ている 3: <del>1</del>	普通 2	: やや劣る	1:劣る(再提出の必	要がある)	
使用	教科書	•教材	等〕 ————								
ら 教 杉	車両、	教材コ	「ンジン、単 	祖部品(サ	プライポン	プ、コモンレ	/一ル)、二	.級ジーゼノ	レ教科書、モジュールシ	ノート	1
					授	業計画	表				No. 1
務経験	標準時限						受業内容(	項目)			
	4	①前	ɪ期前半振〕 ————————————————————————————————————	返り ②後半	授業説明	と車両点検	<u> </u>				
	4	始動	]装置(実車 	で正常状態	の電圧測	定、回路構	成理解)				
	4	充電	浅置(実車 	で正常状態	の電圧測	定、回路構	成理解)				
	4	ター	ボチャージ	ャー(実車で	:過給有無	を体感、デ	一タの違い	から制御を	<b>注理解</b> )		
	4	ジー	ゼル単気間	奇エンジン((	GD320) の	分解•組付(	測定データ	タから作動	を理解)		
	4					ール式エンシ	ジン、過流国	室式エンジ	ンを分解、組立と理解)	)	
	4			の分解・組ュ	なて						
	2	総合	スキル・チ	エック							

教	— <b>—</b> 科		習	科目		5用シャシ実	——— 習	対象級	専門課程サービスエ	ンジニア学	作成月日	23/04/03	
狄	17	自動車	整備作業	14 🗆	μ	か用フィンチ	B	八多版	科2年	- <b>J</b>	開講期	前期	
教科	担当	駒崎 勝約	記·大石 尚	樹(一級自重	動車整備士)	•河智 是明	・成松 樹生・	前田 優祐・	小川 幸雄				
実務網	圣験教員	授業	非該当	総時限	60時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	レポート評価	取組加減	
授業	概要·目	目的〕											
学科で	学んた	ここ級ガン	ソリン・ジ-	ーゼルのシ	ャシの構造	₺・機能及び	作動を現物	勿を使用し <sup>・</sup>	ての実習作	F業を行なう	j		
ことに	より、再	度認識。	と理解度[	向上を図る	0								
授業	の到達	目標〕											
■動力	」伝達数	支置・ブレ	ノーキ装置	置(圧縮空気	式制動倍	力装置)、ス	ステアリンク	で装置、電気	表装置				
灯火	装置、3	空気調和	]装置、保	安装置)の	概要、構造	・機能及び	整備						
■定期	月点検(	12ヶ月点	(検)の基	本作業の引	<b>手順、方法</b> 。	と帳票類の	記入方法の	)習得					
<b>■</b> e-	Deale	·及びPIT	「管理シス	ステムの概要	要と基本操	作の習得と	:業務フロー	-及び時間	・お客様意	識の体得			
学習	評価の	基準〕											
各試駁	点数0	の基準は	レポート	評価及び授	業の取り約	flみを総合(	<b>」て、「5・4</b>	·3·2·1]0	5段階で表	長わす。			
5:特	5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの												
1:成	1:成績特に劣り、不合格のもの												
各試	験点数	の評価に	ま 5:90	~100点 4	1:75 <b>~</b> 89	点 3:60	~ 74点						
60点	未満の	の場合は	再試験を	行う。尚、耳	再試験後の	評価は試験	験規程によ	る。					
レポ・	一トの記	平価は、	5:非常に	:優れている	3 4:優れ	ている 3:	普通 2:	やや劣る					
1:劣	る(再	提出の必	多要がある	5)									
使用	教科書	·教材等	)										
<b>教材</b> 簿	(本	パイク、N	N-BOX、F	REED, VE	ZEEL)PC	、日産4ATÈ	単品、プラネ	タリギヤ棒	型、				
各ステ	アリン・	グギヤB	OX単品、	各オイルオ	ポンプ単品。	、ブレーキ剝	表置単品(コ	「ア・油圧豆	t・ブレーキ	-バルブ)			
					授	業計画	退表					No. 1	
₹務経験	標準時限					1	授業内容()	項目)					
	4	■導入(	①授業内	容の説明(	学習の目的	り、目標につ	ついて)						
	4	■12ヶ月	月点検整値	備①(12ヶ月	点検整備	項目の内容	₹及び点検	要領)					
	4	■シャシ	基礎整備	#①(基本的	りな作業所	作、及び機	器の使用を	理解)					
	4	■灯火∛	装置(灯火	く装置の構造	造・機能の	理解、脱着	、点検、測	定)					
	4	■日産4	1AT①(	単品とモジ	ュール&ス	スキルチェッ	クによる実	習)					
	4	■日産4	1AT② (	単品とモジ	ュール&ス	スキルチェッ	クによる実	習)					
	4	■エアコ	ン(冷房・	サイクルの	理解、実車	による冷媒	ξサイクルσ	)分解•組作	けけ・点検)				
	4	■12ヶ月	月点検整値	備②(帳票数	類(作業指	示書、記録	簿)の作成	及び記載内	容の理解	)			
	4	■パワ-	ー・ステア	リング①(	実車による	るステアリン	グギヤBO	X脱着)					
	4	■パワ-	ー・ステア	リング②(	単品とモジ	ジュール&フ	くキルチェッ	・クによる実	 (習)				

教	科	実習 自動車整備作業	科目	応用シャシ実習	対象級	専門課程 サービスエンジニア学 科2年	作成月日開講期	23/04/03
						I I I	が研り	- III 形 No. 2
<b>ミ務経験</b>	標準時限				———— 項目)			
		■保安装置(回路	<u> </u>					
				ステムの概要の理解				
	4	■シャシ基礎整備	#②(基本的	りな作業所作、及び機器の使用を	を理解)			
	4	■総合復習						

教	科	実習 自動車整備作業	科目	故障	原因探究エン	ノジン	対象級	専門課程 サービスエ 科2年	ンジニア学	作成月日開講期	23/04/03 後期	
教科	担当	■ 超力・渡部	<u>┃</u> 孝昭•木野内	<b>)</b> 〕 英和(一約	级自動車整備		┃ .幸·君塚	【······· [之佑		1213141-1243	ι	
実務総	圣験教員	担授業 該当	総時限	54時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	単元試験	レポート評値	<u> </u>	
〔授業	概要·目	 ]的〕			1							
<ul><li>故障</li></ul>	章時の組		 『究法を取得	 骨する。								
・実事	[におい	ナる整備作業・点を		を取得する	 5。							
• 万-	-の場		去、AEDの例	用方法を	習得する。							
〔授業	の到達	 目標〕										
・電子	子制御 剝		動·各制御	内容を理解	平する。							
· 心肺	市蘇生人	及びAEDの取り扱	いができる	こと。								
・サ-	ービスマ	ニュアルを基にこ	ロンジンの点	検及び部	品交換作業	ぎができるこ	٤.					
〔学習	評価の	基準〕										
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5·4·3·2·1」の5段階で表わす。												
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの												
5:村に成績後労なもの 4:成績長のもの 5:成績音通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績村に劣り、小古格のもの 4:35 ~ 89点 3:60 ~ 74点												
各試験点数の評価は 5:90 ~100点 4:75 ~ 89点 3:60 ~ 74点 60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。												
ンポ	一トの言	平価は 5:非常に	優れている	4:優れ	ている 3:†	普通 2	: やや劣る	1:劣る(耳	再提出の必	要がある)		
〔使用	教科書	•教材等〕										
各実習	車両、	単品教材、HDS、	AED練習さ	テット、サー	キットテスタ	、二級ガン	<b>リン教科書</b>	書、二級ジー	-ゼル教科	書、		
モジュ	ールシ	ート、電気自動車	整備特別教	対育テキス	٢							
				授	業計画	<b>〕</b> 表					No. 1	
実務経験	標準時限				ŧ	受業内容()	項目)					
0	4	後期前半導入	(実習編) 征	<b>发期前半</b> 実	習授業説明	明 新規導	入リフト取打	及講習				
0	2	救急法の習得(	心臓マッサ	ージや人口	1呼吸の重	要性、AEC	の使用時の	のポイント)				
0	2	ハイブリッド車	/低圧の活	線作業								
0	4	エンジンルーム	点検/燃料	抖装置系統	点検							
0	4	故障探求 始重	<b>为装置</b>									
0	4	電子制御装置	センサ復習									
0	4	故障探求 エン	ジン本体									
0	4	後期後半導入	(実習編) 征	<b>发期後半</b> 実	習授業説明	明 電気回	路作製					
0	8	実車シリンダ・	ヘッド交換									
0	4	故障探求 ①(	車両の症状	から故障値	固所を特定)	)						

故障探求 ②(HDS(外部診断機)の情報を基に故障個所を特定)

総合故障探求(基本的故障探求の仕上げ)

ハイブリッド車整備(IPU周辺の分解・取り外し)

ジーゼルエンジン復習

0

0

0

0

4

4

2

教	(科	実習 自動車整備作業	科目	故障原因探	究エンジン	対象級	専門課程 サービスエンジニア学 科2年	作成月日	23/04/03
				授業:	計 画 表		<del>                                    </del>	開講期	後期 No. 2
実務経験	標準時限				授業内容()	 項目)			110. 2
0	2	総合スキルチェ	ック						

数	:科	実習	科目	故障原	5因探求シャ	心実習	対象級	専門課程サービスエ	ンジニア学	作成月日	23/04/03
7.	.17	自動車整備作業	17 14	故障原因探求シャシ実習 自動車整備士)・河智 是明・成松 樹生・前	Y J SVIIX	科2年	,,,	開講期	後期		
教科	担当	駒崎 勝紀·大石 尚	樹(一級自動	動車整備士)	•河智 是明	•成松 樹生	前田 優祐・	小川 幸雄			
実務網	経験教員	<b>員授業</b> 該当	総時限	24時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	レポート評価	取組加減
〔授業	概要∙Ⅰ	目的〕									
学科で	ぎ学んだ	ニニ級ガソリン・ジ	ーゼルのシ	ヤシの構造	₺・機能及び	が作動を現物	勿を使用し <sup>・</sup>	ての実習作	業を行なう	•	
ことに	より、耳	度認識と理解度	向上を図る	0							
〔授業	の到達	目標〕									
■定其	月点検(	の意義と基本作業	の習得(方	法·手順、	実践的接客	<b>F対応、公害</b>	<b>発散防止</b>	装置の理解	<b></b>		
■検査	を機器(	検査ライン)を使り	用しての検?	査業務の方	法と検査を	基準及び判	定と調整力	法の習得			
■エア	'コンの	点検整備作業(冷	i媒回収再	生装置を用	いた主要部	8品の脱着	で、実践的	な作業方法	と注意点で	を理解する)	
■外音	化診断机	機(HDS及びDST	i)、サー	キットテスク	タを用い、身	践的な故	章探求を学	<u>-</u> ぶ			
〔学習	評価の	基準〕									
各試縣	魚点数(	の基準はレポート	評価及び授	業の取り約	みを総合	して、「5·4	·3·2·1] <i>0</i> .	)5段階で表	わす。		
5:特	計に成績	責優秀なもの 4:5	成績良のも	の 3:成績	賃普通のもの	の 2∶成績	やや劣るも	<sub>0</sub> O			
1:成	えります。	当り、不合格のも	<sub>5</sub> の								
各試	験点数	の評価は 5:90	~100点 4	4:75 ~ 89	点 3:60	~ 74点					
60点	点未満(	の場合は再試験を	行う。尚、拝	再試験後の	評価は試験	験規程によ	る。				
レポ	ートの	評価は 5:非常に	:優れている	5 4:優れ <sup>-</sup>	ている 3:	普 通 2:	やや劣る				
1:劣	る(再	提出の必要がある	5)								
〔使用	教科書	•教材等〕									
教材多	(本	パイク、N-BOX、I	REED, VE	ZEL),PC	(HDS、電·	子配線図、	電子サービ	ニスマニュア	·ル)		
DST-	-i、冷如	某回収再生装置、	検査機器(	検査ライン	)						
				授	業計画	画 表					No.1
実務経験	標準時限				;	授業内容(:	項目)				
0	4	■エアコン(エア	コンの点検	整備作業、	主要部品服	兑着要点及	び注意点)				
0	4	■故障探求①(討	设定した故図	章を電子サ	ービスマニ	ュアル·電 <del>-</del>	子配線図を	用いた故障	探求の実	践)	
0	4	■検査ライン①(	検査機器の	使用方法	と調整作業	の習得)					
0	4	■24ヶ月点検①	公害発散	防止装置の	理解と点材	美要領の習	得)				
0	4	■24ヶ月点検②	実作業に特	寺化した実	習を行い、	技術とお客	様意識の習	写得) ————————————————————————————————————			
0	4	■e-Dealer &	PIT管理								

大教	科目	実習 自動車整備作業	小教科目		実新技術		対象級	専門課程サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03		
								科2年	開講期	前期		
教科	担当	岡地 智行·渡部 :										
rh 7kr 4/	∇ FA +/L 5	駒崎 勝紀·大石 尚	I						. 10 1 = 7.77			
	圣験教員 		総時限	16時限	授業万法	実習·実技	評価方法		レポート評価	1		
	概要·目		→ ++ 4× + 1/4·	に 日 <b>ナ</b> フ								
□取新	技術の	知識、メンテナンス	人技能を修	侍する								
〔授業	日煙)											
		・サイクル・エンジ	いを宝現す	スための結	きょう	まる						
		SINGのエーミング				7.0						
		 機能の構造・整備										
		器の使用方法を										
使用	教科書											
コージ	ェネ用	ネ用エンジンYR1、L13B, L15B, LEB H-1エンジン、GB3 フリード、KC2 レジェンド、NC1 NSX										
SE3叙	<b>ダハー</b> ト	· 編										
				授	業計画	表				No. 1		
実務経験	標準時限				ŧ	受業内容(耳	頁目)					
	4	アトキンソン・サ	イクルエン	ジンの理解	!(YR1エンシ	ジン分解・組	1付)					
	4	最新エンジン構	造の確認(	L13B、L15I	B、LEB-H1	エンジンの	分解•観察	)				
	1	HONDA SENSI	NGの取扱し	\(SENSIN	Gの種類及	び車種によ	る違い)					
	1	•VSA/標識認	l識(VSAメン	テナンス根	既要、VSA記	设定方法、村	票識認識概	要、標識認識検証)				
	1	•衝突安全装	置(衝突防」	上機能の概	要、衝突防	近機能の	)					
	1	・アラウンドビ	ューモニター	-(アラウン	ドビューモニ	ニターの概念	要、アラウン	ンドビューモニターの枝	(証)			
	1	レーダーエイミン	ング(レーダ	一機能の概	既要、エイミ	ング学習)						
	1	・カメラエイミン	ノグ (カメラ格	態能の概要	、エイミンク	グ学習)						
	1	・4輪アライメン	ントテスター	(アライメン	トテスター	概要、アライ	イメント測定	[調整]				
	1	<ul><li>タイヤ交換(</li></ul>	タイヤ交換の	作業、交換	のコツの理	解)						

大教	科目	実習 自動車整備作業	小教科目	実	<b>ミ践自動車整</b> (	備	対象級	専門課程 サービスエンジニア学 科2年	作成月日開講期	23/04/03 通期		
教科	担当	岡地 智行・渡部 :		 ] 英和(一約	 扱自動車整備	 i士)•君塚	真之佑		Mania	~		
教科		駒崎 勝紀·大石 尚						 小川 幸雄				
実務総	圣験教員	通授業 該当	総時限	62時限	授業方法	実習·実技	評価方法	今期評価なし				
〔授業	概要・目	 ]的〕										
・実践:	現場で	の基本を習熟し自	分のスキル	 レを高める	 ことで、入社	 :に向けた <sup>ス</sup>	 不安を払拭	する。				
〔授業	授業目標〕											
・企業	企業実習(実社会での体験を通し、就業への目的意識を明確にさせ,学園生活で生かす。)											
・サービス業務の職場を実践的に体験し、お客様意識と効率を考えた作業方法を体験する。												
•4輪0	)点検	整備手順を順序良	とく、効率的	に作業が出	出来る。							
·実践	- 現場の	接客応対の習熟。	0									
·不得:	急分野	を実車/単品の機	構をを確認	して理解原	 隻を高める。							
〔使用	<b>教科書</b>	·教材等〕										
定期点	検整値	<b>帯の手引き</b>										
				授	業計画	表				No. 1		
実務経験	標準時限					受業内容(耳	頁目)					
0	4	24ヶ月点検整備	①(企業第	€習前の基	本点検復習	3)						
0	2	タイヤ空気充填請	<b>集習</b>									
0		企業実習(実習										
0	16	総合的な動作理的	解 (登録討	験問題に	出題される語	部品•機構(	の作動構造	<b>造確認)</b>				
	ļ											
										r		

教科			山岳如	専門課程	· · ·	作成月日	23/04/03					
<b>教科</b>	自動	車検査作業	科目	Ħ	動車検査実	省	対象級	サービスエ 科2年	ンジニア学	開講期	後期	
教科担当	駒崎	勝紀・大石 尚	· 的樹(一級自動	動車整備士)	•河智 是明	•成松 樹生	前田 優祐・	小川 幸雄				
実務経験教	<b>女員授業</b>	非該当	総時限	32時限	授業方法	実習·実技	評価方法	実習試験	期末試験	レポート評価	取組加減	
〔授業概要	・目的〕											
学科で学ん	だ二級	ガソリン・ジ	ーゼルのシ	ャシの構造	・機能及び	が作動を現物	勿を使用し	ての実習作	業を行なう	١		
ことにより、	再度認	識と理解度	向上を図る	0								
〔授業の到	達目標	)										
■CVTストールテスト・油圧測定の方法の習得と測定結果の意味の理解												
■24ヶ月点検の基本作業と検査ラインによる検査方法の理解と習得 ■ブレーキオーバーホールの習得												
■故障探え	き整備の	)習得 ■(	CVT単品分	解組立ては	こよる理解 <sup>:</sup>	習得						
■外部診断機(HDS及びDST-i)による各種テスト及びカスタマイズの理解と習得												
■CVT単品分解組立てによる理解習得												
[学習評価の基準]												
各試験点数の基準はレポート評価及び授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。												
5:特に成	績優秀	なもの 4:	<b>並績良のも</b>	の 3:成績	普通のもの	ひ 2:成績	やや劣るも	の				
1:成績特	に劣り	、不合格の	<del>5</del> の									
各試験点	数の評	価は 5:90	~100点 4	4:75 <b>~</b> 89	点 3:60	~ 74点						
60点未添	ある場合	は再試験を	行う。尚、拝	再試験後の	評価は試験	験規程によ	る。					
レポートの	)評価に	は 5:非常に	優れている	5 4:優れつ	ている 3:	普 通 2:	やや劣る					
1:劣る(	再提出0	り必要がある	5)									
〔使用教科												
		7、N-BOX、										
電子サーと	スマニ.	ュアル)、DS	STーi、ブレ				景、検査機	器(検査ライ	(ン)			
	1			授 	業 計 個						No.1	
実務経験 標準時	-			7.15.35		授業内容(: 	項目 <i>)</i>					
4		r月点検③(										
2		/ーキオー/ <sup>・</sup>				••	111 \					
4		ノダ・CVT ( 					省)					
4		章探求② ( 				の美践)						
1		T油圧測定。										
1		お診断機の				左 / A L I T O :		= <b>7 5 6 4</b> · `				
4		をライン② :					<u> </u>	ア人タ宮む)	1			
8	-	ンスミッショ										
4	е-	Dealer &	PII 管埋(3)	(帳票の出	刀、接各厄	対の実践)						

大教	科目	学科 自動車工学	小教科目	ř	総合自動車〕	I	対象級	専門課程 サービスエンジニア学 科2年	作成月日 開講期	23/04/03 前期		
			孝昭•木野内	 ] 英和(一新	吸自動車整備	計)・伝 弘	┣━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━		131101-3791	ואינים		
教科:												
実務組	E 験教員	通授業 非該当	総時限	4時限	授業方法		評価方法	学科試験				
〔授業権	既要・目	目的〕										
•学科	受業の	理解度を試験に	て確認する									
〔授業	目標〕											
•詳細(	は試験	規定にのっとって	実施する。									
<i>( I</i> + m +	الله الرام الم	+L ++ ++ >										
[使用教科書・教材等]         ・試験問題 ・マークシート												
■試験	问起 '	マークシート			* 1 교	· +				NI 4		
実務経験	標準時限			友	業 計 画 	」 衣 ———— 受業内容(J	<u> </u>			No. 1		
		応用エンジン期ま	 末試験			~~~						
		応用シャシ中間語										
	1	応用ジーゼル期	末試験									
	1	応用シャシ期末記	試験									

			1				1			
大教	科目	学科 自動車整備	小教科目	ŕ	総合自動車 I	I	対象級	専門課程 サービスエンジニア学 科2年	作成月日 開講期	23/04/03 後期
			<u></u> 孝昭•木野戊	<b>基和(一</b> 紙	及白動車整備	計()・伝 弘	幸・君塚 直		闭研初	交形
教科		駒崎 勝紀·大石 尚								
実務約	圣験教員	負授業 非該当	総時限	3時限	授業方法		評価方法	学科試験		
〔授業	概要∙目	目的〕								
·学科:	授業の	理解度を試験に	て確認する							
〔授業	目標〕									
•詳細	は試験	規定にのっとって	実施する。							
		·教材等〕 ·								
•試験	問題・	マークシート			- II I					
実務経験	描准吐阳			授	業計画 ————————————————————————————————————	」 表  受業内容(J	语日)			No. 1
夫務從駅		故障探求エンジン	一 一 一 一		1.	文条内台()	·共日 /			
		故障探求シャシ								
		故障探求エンジン								
	•	-X-14-14-17-12-12-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-13-	- 741214112497							

- 1- +/-	14 E	60	1. #6.74		<b>-</b>		11 <i>5</i> / 17	専門課程	作成月日	23/04/03		
大教	科目	一般	小教科目	3	安全運転学]	Ц	対象級	サービスエンジニア学 科2年	開講期	通期		
+/_ T.1	10.11	岡地 智行·渡音	。 孝昭·木野内	, 英和(一約	吸自動車整備	請士)・伝	弘幸 君塚 耳	真之佑				
教科		駒崎 勝紀·大石	尚樹(一級自動	動車整備士)	•河智 是明	・成松 樹	生•前田 優祐	·小川 幸雄				
実務約	圣験教員	負授業 非該当	総時限	8時限	授業方法	実習·実	技評価方法	今期評価なし				
〔授業	概要∙目	目的〕										
自動	車業界	の一員であるこ	とを自覚し、	交通社会に	おいて安全	全運転の	実践と普及を	E推進する				
・ライラ	ディング	アドバイザー(:	二輪)、セーフ	ティコーディ	ィネーター(	四輪)の	資格を取得る	する				
〔授業	目標〕											
·規律	の大切	さと他人との協	調を養う。									
・安全運転の思想『人間尊重』を学ぶ。												
・安全運転の思想から、整備時の安全に対する取り組みまで広げて理解する。												
・日常	運転時	の危険予知トレ	ノーニングを行	·う。								
〔使用	教科書	·教材等〕										
·安全	運転教	育テキスト・交	を通教育センタ	ターレインオ	ボー埼玉教	習車両(	二輪、四輪)					
•i-Pac	I, KYTI	レポート用紙										
				授	業計画	表				No. 1		
実務経験	標準時限				- 1	受業内容	(項目)					
		二輪コース										
	1	◆安全な乗りス	ちのアドバイス	ス方法を習	熟							
		◆救急法 ·気	道確保、止血	l、AEDの使	用方法実施	浅						
	1	◆車両の取り	回し方法実践	、二人乗り	アドバイスフ	方法の習	熟					
	2	◆慣熟走行										
		◆ブレーキング	ブ・目標制動	、パイロン	スラローム、	タンデム	走行、ABS/	/CBS体験				
		◆反応制動 ·	生理的限界の	の確認								
		◆コーナリング	・オフセット	スラローム								
		四輪コース										
	1	◆静的実技 ·			降車∙視死	角						
	1	◆ブレーキンク										
		◆車両感覚・										
	1	◆ロールプレイ		運転アドバ	イス要領							
		<b></b>										
		危険予知トレー										
	1	◆5月連休前兒										
	2	◆7月連休前角										
	1	◆12月連休前	可定しますがある。 可定しますが、 可定しますが、 可定しますが、 可定しますが、 可定しますが、 可定しますが、 可定しますが、 可定しますが、 できまれる できまれる できまれる できまますが、 できまますが、 できまますが、 できまますが、 できまますが、 できままますが、 できまままますが、 できままままますが、 できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	ーニング	·動画KYT	を用いた	危険予知訓	練				

<b>-</b> +- ±/- 3	61 D	ńД	♪★₩ TO	接客実務				専門課程 サービスエンジニア学	作成月日	23/04/03			
大教和	PH H	一般	小教科目		<b>按</b> 各夫務			刈豕椒	科2年	開講期	後期		
教科技	担当	岡地 智行・渡部	孝昭・木野内	] 英和(一級	及自動車整備	情士)・(	伝 弘	幸·君塚 真	之佑				
		駒崎 勝紀·大石 尚	樹(一級自重	协車整備士)	·河智 是明·	·成松	樹生∙	前田 優祐・	小川 幸雄				
実務経	経験教員	担授業 非該当	総時限	10時限	授業方法	講	義	評価方法	今期評価なし				
〔授業概	既要∙目	]的〕											
・サーヒ	ごス業を	<b>務において即戦力</b>	となる人材	を育成する	; 								
•SE3級	資格国	取得に必要な知識	を身に付け	ける									
「授業目標〕 ・サービス活動を行うにあたっての基本的な接遇を息につける													
サービス活動を行うにあたっての基本的な接遇を身につける													
・サーヒ	サービス活動の基礎知識、フロントの基本業務を理解する												
<ul><li>サーヒ</li></ul>	ごス活動	動をとりまく基礎的	な知識を理	里解する									
〔使用教	使用教科書·教材等〕												
•SE3級	とソフト	編 •i−Pad											
				授 	業計画						No. 1		
実務経験		授業内容(項目)											
	2			本、言葉づ	かいと話し	方、妇	子まし!	ハ立ち居振	る舞い、電話対応の製	基本、			
		名刺交換の基本											
	2	・サービスの基本							D役割) ————————————————————————————————————				
	2	・フロント業務の基				理、	受入∤	ι業務) 					
	1	・お引渡し業務(お											
	1	・整備業務の基本		とは、整備	作業の進	か方)							
	2	・周辺知識(部品)	の基礎)										

<b>+</b> #/-	<b>≨</b> 1 □	ÓП	小井刊口	損害保険一般 基礎単位 対象級				<b>5</b> 4条级	専門課程	作成月日	23/04/03		
大教	件日	一般	小教科目	担告体	快一般 奉	逆甲辺	•	刈豕椒	サービスエンジニア学 科2年	開講期	前期		
教科	担当	岡地 智行・渡部	孝昭•木野内	英和(一級	及自動車整備	情士) • 倍	云 弘	幸·君塚 真	[之佑				
72.17		駒崎 勝紀・大石 尚	j樹(一級自重	协車整備士)	•河智 是明·	成松	樹生∙	前田 優祐・	小川 幸雄				
実務網	圣験教員	負授業 非該当	総時限	10時限	授業方法	講	義	評価方法	今期評価なし				
〔授業	概要∙目	目的〕											
1. 整值	備士とし	て働く上で、損害	保険に対し	ての基礎領	知識を身に	つける	)。						
2. 損害	2. 損害保険募集人資格を取得する。												
〔授業	授業目標〕												
·自動 <sup>1</sup>	自動車だけでなく広く保険の仕組みを理解する												
•実務(	実務においてお客様に説明できる知識を身に付ける												
〔使用													
•損害(	・損害保険一般(基礎単位)教育テキスト、i-Pad												
				授	業計画	ī 表					No. 1		
実務経験	標準時限	授業内容(項目)											
	1	・損害保険の基礎	楚知識(損害	保険の概	要、損害保	険の基	<b>基礎</b> )						
	1	・コンプライアンス	に1(正しい則	<b>反売活動、</b> (	呆険業法、	消費者	<b>美契約</b>	に関する	去律)				
	1	・コンプライアンス	(2(犯罪収	益移転防止	:法、個人情	<b>青報保</b>	護法	)					
	1	<ul><li>代理店の日常業</li></ul>	美務(保険契	?約締結後(	の代理店の	業務.	、事故	対応と保	険金支払い)				
	1	•損害保険商品1	(損害保険	商品の概要	更、くるまの	保険)							
	1	•損害保険商品2	(住まいの	保険、からな	だの保険)								
	1	・損害保険の周辺	2知識(損害	保険と法律	聿·税金、近	隣業	界∙社	:会保険制	度)				
	1	・人権問題を考え	る(損害保	険の募集と	:主な人権)								
	2	•損害保険募集/	人基礎単位	試験(外部:	会場)								

大教	科目	一般	小教科目	特別講座	座(総合自動	車整備	<b>帯</b> )	対象級	専門課程 サービスエンジニア学 科2年	作成月日	23/04/03
		岡地 智行・渡部	<b>≱</b> 昭•木野内	1 革和(一組	<b>3</b> 白動車整備	+)•	伝 弘	幸•君塚 直		開講期	通期
教科		駒崎 勝紀·大石 尚									
実務終	圣験教員	<u> </u>	総時限	70時限	授業方法	講	-	評価方法	今期評価なし		
	概要・目		110.4.1124	707712	1276774	B1-7		H	77911 IIII 0.0		
		ーーー 内資格である四輪	サービスエ	ンジニア3	級の資格取	(得					
·国家.	二級整	備士資格を取得す	 するための <sup>;</sup>	———— 特別授業							
·定期	試験前										
〔授業	目標〕										
•Hond	a独自(	の機構、整備技術	の習得								
•教科	書の記	載内容を現物で研	在認し、構造	₺・作動の理	里解度を向_	とさせ	る				
•各々(	の苦手	項目を抽出し、項	目別の授業	美を行うこと	で国家二級	<b>整備</b>	士資	格を取得す	<sup>-</sup> る		
〔実務	経験の	ある教員による授	業〕								
自動	車整備	士として実務経験	食のある教員	員が、整備3	閉場で必要	な作	業方法	去・知識にて	いて、		
実務	経験を	活かしてより実践	的内容を指	音導し授業を	を行う。						
〔使用	教科書	•教材等〕									
•SE3系	及ハート	<sup>:</sup> 編 ・SE3級ソフI	〜編 ・登録	試験対策問	問題集 ·各	単元	教科	<u> </u>			
				授	業計画	表					No. 1
実務経験					<u> </u>	受業内	]容(]	<b>頁目</b> )			
		科目別総合復習									
	49	•登録試験対策技									
	10	・損害保険 募集			TA 1144						
	3	<ul><li>・ホンダ四輪サー</li></ul>									
	1	<ul><li>ホンダ四輪サー</li></ul>	ヒスエンン	一ア3級試	映						